

## 決算審査特別委員会会議録

1. 日 時 平成23年10月12日(水曜日)  
午前9時30分～午後5時58分
2. 場 所 委員会室
3. 出席委員 徳並伍朗 委員長 高木法生 副委員長  
安富法明 委員 南口彰夫 委員  
大中宏 委員 河村淳 委員  
村上健二 委員 原田茂 委員  
山本昌二 委員 田邊諄祐 委員  
柴崎修一郎 委員 荒山光広 委員  
西岡晃 委員 河本芳久 委員  
下井克己 委員 岩本明央 委員  
山中佳子 委員 三好睦子 委員  
萬代泰夫 委員 有道典広 委員  
岡山隆 委員 馬屋原真一 委員  
竹岡昌治 議員 秋山哲朗 議長  
布施文子 副議長
4. 欠席委員 なし
5. 出席した事務局職員  
重村暢之 議会事務局長 岩崎敏行 議会事務局主査  
岡崎基代 議会事務局主査
6. 説明のため出席した者の職氏名  
林 繁美 副市長 波佐間 敏 総務部長  
田 辺 剛 総合政策部長 藤井勝巳 美東総合支所長  
杉 本 伊佐雄 秋芳総合支所長 倉重郁二 総務部次長  
奥 田 源 良 総務部財政課長 古屋勝美 会計管理者  
篠 田 洋 司 総合政策部次長 末岡竜夫 総合政策部地域情報課長

杉原功一	市民福祉部市民課長	前野兼治	建設経済部建設課長
小田正幸	総務部税務課長	久保宏二	総務部監理課長
内藤賢治	総務部国体推進課長	西山宏史	監査事務局長
末益正美	美東総合支所総務課長	平井良憲	秋芳総合支所総務課長
金子彰	市民福祉部長	佐々木彰宣	市民福祉部地域福祉課長
白井栄次	市民福祉部高齢福祉課長	佐々木郁夫	市民福祉部生活環境課長
原川清史	市民福祉部健康増進課長	平田耕一	美東総合支所市民福祉課長
西村克彦	秋芳総合支所市民福祉課長	伊藤康文	建設経済部長
福田和司	総合観光部長	松野哲治	総合政策部商工労働課長
秋枝秀稔	建設経済部次長	西田良平	建設経済部農林課長
大野義昭	総合観光部観光総務課長	綿谷敦朗	総合観光部観光振興課長
刀禰義次	美東総合支所建設経済課長	秋山芳幸	秋芳総合支所建設経済課長
永富康文	教育長	山田悦子	教育委員会事務局長
坂田文和	消防長	石田淳司	教育委員会事務局次長
月成庄造	教育委員会学校教育課長	末藤勝巳	教育委員会社会教育課長
田畑龍男	消防本部次長	堀洋数	教育委員会体育振興課長
高橋文雄	教育委員会文化財保護課長	西岡博和	消防本部警防課長
柴崎隆博	消防本部予防課長		

午前9時30分開会

委員長（徳並伍朗君） おはようございます。只今より決算審査特別委員会を開会いたします。委員の皆さまはじめ、執行部の皆様には円滑な委員会運営にご協力を賜りますよう心からお願いを申し上げます。また、秋山議長、布施副議長、竹岡監査委員には、オブザーバーとしてご協力をよろしくお願いをいたします。それでは、先の本会議におきまして、本委員会に付託されました議案10件につきまして、審査いたしたいと思っております。なお、審査の日程でございますが、本日は美祢市一般会計、明日13日午前中と17日に全特別会計、18日を予備日とし、4日間で、会計ごとに審査を進めてまいりたいと思っております。また、一般会計決算、特別会計決算の説明・質疑がすべて終了した後、村田市長に出席を願い、総括審議を行います。なお、本日の審査の進め方でございますが、一般会計の決算の説明にあたっては、歳出の款ごとの審査といたしますが、款によっては所管部局が多数となるため、それぞれの部局からの説明をよろしく願いいたします。それでは、林副市長さん、何かございませんか。

副市長（林 繁美君） ございません。よろしくお願いをいたします。

委員長（徳並伍朗君） それでは、これより審査を始めます。議案第16号平成22年度美祢市一般会計決算の認定についてを審査いたします。なお、決算の説明にあたっては、歳入では、収入未済額の大きなもの、歳出では、主要事業、未執行の事業及び不用額の大きなものについて、ご説明をいただきたいと思っております。それでは、最初に執行部より、一般会計の総括的な説明を求めます。奥田財政課長。

総務部財政課長（奥田源良君） それでは、一般会計決算特別委員会に付託されております議案第16号平成22年度美祢市一般会計決算について、ご説明をいたします。お手元に配布しております平成22年度主要施策成果報告書をご準備いただきたいと思っております。こちらにより概要を説明させていただきます。

では、成果報告書の2ページのほうをお開きいただきたいと思っております。2ページの表は、財政規模及び財政収支の状況をご覧いただきたいと思っております。平成22年度一般会計の決算規模でございますが、歳入総額はA欄でございますが、192億5,088万5,000円で、昨年度の184億4,817万9,000円に對しまして、8億270万6,000円、率にいたしますと4.4%の増となったところでございます。次に、歳出の総額でございますが、B欄でございます180億1,831万3,000円で、前年度の176億9,075万円に比べまして、3億

2,756万3,000円、率にいたしますと1.9%の増となりました。この結果、形式収支であります歳入歳出差引額は、C欄ですが、12億3,257万2,000円となりましたが、この中には、きめ細かな交付金などの地域活性化臨時交付金事業や災害復旧事業等の繰越明許費として翌年度へ繰り越すべき財源が、5億8,126万8,000円を含んでおりますことから、これを差し引きました平成22年度の実質収支は、その下になりますが、6億5,130万4,000円の黒字となったところでございます。また、今年度の収入には前年度の実質収支の繰越金が引き継がれておりますことから、前年度の実質収支額5億5,133万8,000円を差し引きました平成22年度の単年度収支につきましては、9,996万6,000円のプラスになったところでございます。次に単年度収支には基金の積立や取り崩しなどの、赤字要素と黒字要素が含まれておりますことから、これらを控除したものが、実質単年度収支になります。一番下の実質単年度収支につきましては、1億85万6,000円のプラスになったところでございます。なお、只今申し上げました積立金とは財政調整基金のみを指しているものでございます。以上が平成22年度の決算におきます財政規模及び決算収支の状況でございます。

それでは、決算の内容でございますが、最初に歳出の状況からご説明をさせていただきます。成果報告書の10ページをご覧くださいと思います。このページの表、目的別歳出内訳の最下段の合計でございますが、平成22年度の最終予算額は、表の一番下でございますが、206億7,650万7,000円となったところでございます。平成22年度の当初予算額が、152億3,600万円であったことから、約54億4,000万円が増加したことになります。これは、7月の豪雨災害の災害復旧事業や国の臨時交付金事業などの補正予算及び前年度からの繰越明許費などの予算が加わったことによるものでございます。この予算額に対しまして、歳出決算額は180億1,831万3,000円となり、87.1%の執行率となっております。なお、臨時交付金事業や災害復旧事業等の繰越明許費として、19億4,258万3,000円を平成23年度に繰越をしておりますことから、この繰越明許額を控除した執行率は、96.2%となるものでございます。また、歳出決算額を前年度と比較いたしますと、3億2,756万3,000円、1.9%の増となっております。この要因は、2年連続した豪雨災害に見舞われたことによる災害復旧事業や小・中学校の耐震化事業、子ども手当支給事業などで支出が増加する反面、定額給付金事業や地域情報基盤整備事業等の終了や公債費が減少し

たことによるものでございます。決算額を目的別構成比の大きい順の申しますと、民生費が39億1,646万2,000円で、構成比が21.8%、次が、総務費が26億1,645万1,000円で、14.5%、公債費が23億709万7,000円で、12.8%、教育費が21億1,243万2,000円で、11.7%、衛生費が18億5,789万9,000円で10.3%などとなっているところでございます。

次に、主な増減理由について説明させていただきます。まず、増加したものでございますが、災害復旧費は378.7%の増加となっておりますが、これは2年連続の豪雨災害に起因するものでございます。教育費におきまして、学校の耐震化改修事業及び河原コミュニティセンター建設事業によりまして、59.4%の増加となっております。民生費におきましては、12.0%の増で、児童子ども手当支給事業や災害援助扶助費が増加したものによるものでございます。逆に減少した主なものでございますが、総務費で31.0%減少しております。これは、定額給付金事業や地域情報基盤整備事業が終了したことに伴うものでございます。農林費で28.5%減少しております。これは、畜産基盤再編総合整備事業などの普通建設事業が減少したことによるものであります。土木費では、16.6%の減で、地域住宅交付金事業などの減少によるものでございます。続きまして、性質別歳出決算について説明をさせていただきます。報告書の11ページの表、性質別歳出内訳をご覧くださいと思います。消費的経費につきましては、決算額が102億5,268万3,000円で、構成比56.9%、前年度比較は、1億3,611万1,000円、1.3%の減となっております。次に、投資的経費は、38億4,275万5,000円、構成比21.3%、前年度比較は、12億6,094万4,000円、48.8%の増となっております。公債費は、23億709万7,000円、構成比12.8%、前年度比較で3億6,753万円、13.7%の減となっております。その他につきましては、決算額16億1,577万8,000円、構成比9.0%、前年度比較は、4億2,974万円、21.0%の減となっております。その他の内訳といたしましては、積立金が5,548万1,000円、構成比0.3%、5億2,449万7,000円、90.4%の減となっております。また操出金が14億9,908万8,000円、構成比8.3%、前年度比較は9,049万8,000円、6.4%の増となっております。次に、個別の構成比では、消費的収支の人件費が36億2,339万円、構成比20.1%、補助費等

が25億6,477万8,000円で、14.2%、公債費が23億709万7,000円で12.8%、普通建設事業費が20億195万9,000円で11.1%などとなっております。前年度の決算額に対しまして、増減のある主なものについてご説明を申し上げます。まず人件費でございますが、退職者の増加により退職金は増加したものの職員数の減少により、人件費全体では4,701万2,000円、率にいたしまして1.3%減少しております。扶助費では、子ども手当の支給開始や豪雨災害に係る災害救助費等によりまして、3億6,827万6,000円、率にいたしまして23.1%の増、補助費等におきましては4億9,978万6,000円、率にいたしまして16.3%の減となっております。補助費等の減少要因でございますが、定額給付金事業の終了や病院事業会計への操出金の減などによるものでございます。次に、普通建設事業費では、地域情報通信基盤整備事業や地域住宅交付金事業が終了いたしましたことにより、2億889万4,000円、9.4%の減となったところでございます。災害復旧費は、先程ご説明しましたとおり、2年連続の豪雨災害に伴いまして14億4,983万8,000円、率にいたしまして396.2%と大幅な増となったところでございます。公債費は、3億6,753万円、率で13.7%の減少となっております。その他の中の積立金でございますが、5億2,449万7,000円、率にいたしますと90.4%の減でございますが、これは、災害復旧事業において、いわゆる施越事業費が多額となり、一般財源を確保するため積立を控えたことによるものでございます。貸付金では、中小企業制度融資預託金の増加及び今年度新たに災害援護資金貸付金が増えたことによりまして、425万9,000円、15.8%の増となっております。操出金は、9,049万8,000円、率にいたしまして6.4%の増となっております。この内訳は、18ページのほうに操出金の内訳という表を掲載しておりますので、後程ご覧いただけたらと思います。以上が、歳出のほうの説明でございます。

続きまして、歳入の状況につきましてご説明を申し上げます。報告書の3ページの歳入内訳の表をご覧頂きたいと思っております。平成22年度の歳入決算額は、表の一番下の合計でございますが、192億5,088万5,000円となり、対前年度比較で4.4%の増となったところでございます。依存財源の主なものでございますが、表の中段当たりになります地方交付税で76億8,553万8,000円で、構成比39.9%となっております。続いて、二つ下でございますけど国庫支

出金が23億7,231万4,000円で、構成比12.3%、更に二つ下になりますが、市債20億6,320万円、10.7%、今度一つ上戻って頂きまして、県支出金が13億4,085万6,000円、7.0%となっておりまして、依存財源の合計が141億5,009万円となり、構成比73.5%、前年度に比べまして9.7%の増となっております。一方、自主財源でございますが、市税が34億617万3,000円、構成比17.7%、繰越金が7億5,743万円、構成比が3.9%となっておりまして、自主財源の合計は下から2番目になりますが、51億79万5,000円となり、構成比は26.5%で、前年度に比べまして、8.1%減少しております。次に、増減についてでございますが、前年度と比較して増減率が大きいものについてご説明いたします。増加率の最も大きいものは、自主財源の中程の寄附金であります。前年度比で2,191万4,000円、390.3%の増となっております。これは、災害支援金等を市内の個人や法人の方から頂いたことによるものであります。次に地方特例交付金でございますが、3,233万7,000円、率にいたしまして64.5%の増となっております。これは子ども手当が創設されことによるものでございます。続きまして、配当割交付金が140万円、36.9%の増となっております。続きまして、市債が、4億7,430万円、29.9%の増となっております。これは、学校施設整備事業や災害復旧事業等の増加によるものでございます。次が国庫支出金でございます。4億9,226万1,000円、26.1%の増となっております。これは、災害復旧事業費や臨時交付金事業などで国の支出金が増加したものでございます。続きまして、減少率の大きいものについてご説明をいたします。まず繰越金が4億5,221万2,000円、37.4%減少しております。これは定額給付金事業や臨時交付金事業など、事業を繰り越して実施するために平成21年度に増加した繰越金が事業の終了したことにより、平成22年度の決算額が減少したものでございます。次に株式譲渡所得割交付金ですが、60万2,000円、28.4%の減となっております。更に自動車販売台数の減少等により自動車取得税交付金が、1,218万6,000円、16.1%減少しております。続きまして、表の一番下でございますが、諸収入が1,490万円、率で6.8%の減となっております。諸収入の減少は、独立行政法人森林総合研究所が実施する分収林事業が減少したことで、事業収入が減少したものでございます。次に市税の状況について、その概要を説明いたします。市税の収入額は総収入の17.7%、自主財源の66.8%を占めておりま

す。では報告書の6ページのほうご覧頂きたいと思います。平成22年度の市税の決算額でございますが、表の一番下の中央でございます34億617万3,000円でございます。経済情勢や雇用環境の悪化等によりまして、前年度決算額の34億1,336万6,000円に比べまして、719万3,000円、率にいたしまして0.2%の減となっております。市税の内訳でございますが、1の市民税で調定額12億8,851万7,000円に対しまして、決算額が12億4,719万4,000円で、徴収率が96.8%、対前年度で4,392万6,000円、3.4%の減でございます。次に2の固定資産税では、調定額19億6,091万3,000円に対しまして、決算額17億5,682万6,000円で、徴収率89.6%、対前年度2,963万7,000円の増となったところでございます。その他の税目につきましては、表にお示ししているとおりでございますのでご覧頂きたいと思います。また、市税の構成比率を見ますと、固定資産税が51.6%、市民税が36.6%、たばこ消費税が4.5%、都市計画税が3.1%の順になっております。市民税と固定資産税を合計した構成比率は、88.2%となり、この二つの税でほぼ9割近い構成となっているところでございます。なお、市民税の現年分、滞納繰越分のそれぞれの収納状況につきましては、監査委員の報告書であります平成22年度美祢市各会計歳入歳出決算書及び基金運用状況審査意見書、緑色の背がついた冊子になっているものでございますけど、これが42ページから記載されておりますので、後程ご覧いただけたらと思います。以上が、市税の概要でございます。続きまして、基金の状況についてご説明を申し上げます。報告書の17ページの基金の状況という表をご覧頂きたいと思います。平成22年度末の基金の総額は、表の一番下右側でございますが、30億112万4,000円となりました。前年度末の現在高が30億8,506万3,000円であったことから、8,393万9,000円の減となっております。これは、災害復旧事業において、いわゆる施越事業が多額となり、一般財源を必要とすることから、積立を控えたこと、また、公共投資臨時交付金事業で平成21年度に積み立てた基金を取り崩しを行ったことが、大きな要因でございます。なお、このような状況でございますが、ふるさと美祢応援基金及び庁舎等整備基金は積立を行っております。次に市債の状況でございます。報告書は20ページのほうご覧いただきたいと思います。20ページの表は、市債の現在高を目的別に一覧にしたものでございます。平成22年度末、市債未償還元金の総額でございますが、表の一番下の右側でございますが、1



81億1,246万8,331円となっております。昨年度末の未償還元金の総額が180億6,067万6,436円でありましたので、5,179万1,895円、率にいたしまして0.3%増加しております。これは、地方交付税を補完する臨時財政対策債及び災害復旧事業債が増加したことが主な要因でございます。未償還元金の内訳でございますが、普通債が106億5,286万6,210円、災害復旧債が3億9,485万6,539円、その他では、臨時財政対策債が53億2,496万3,588円、退職手当債が11億5,548万3,933円などとなっております。平成22年度の普通債における起債額の内訳でございますが、民生では、社会福祉協議会運営補助事業などで、4,730万円を、衛生では、医師確保対策事業等で、6,000万円を、農林関係では、秋吉台山焼き事業として、400万円を、商工では、地域経済振興事業、商品券発行事業でございますけど500万円を、土木関係では、市道の整備事業として、8,280万円を、公営住宅では、温湯団地購入事業に、5,620万円、教育関係では、小・中学校の整備事業、花づくり事業、あるいは河原コミュニティセンター整備事業で、3億9,530万円を起債しております。また、平成22年度の元金償還額は、普通債で14億9,118万3,151円、災害復旧債で、2,109万1,850円、その他の市債では、4億9,913万3,104円となっております。以上が平成22年度の美祿市一般会計決算の概要についてでございます。引き続き、各担当課長から平成22年度の主要施策等につきまして、ご説明を申し上げますので、よろしくお願いをいたします。私からの説明は以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 一般会計の総括的な説明が終わりました。これからは一般会計の個別事業について説明を求めます。まず議会費を議題といたします。重村議会事務局長。

議会事務局長（重村暢之君） それでは同じく主要施策成果報告書の35ページから説明をいたします。平成22年度一般会計主要施策実施状況でございます。まず款議会費・項議会費・目議会費ですが、主な事業といたしまして、友好都市交流事業として、中国山東省棗莊市への行政訪問42万3,000円、当議事堂照明ランプ交換16万9,000円、委員会室マイク購入としまして31万2,000円を支出しております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） 説明が終わりました。それでは質疑を行います。質疑はございませんか。（発言する者あり）個別にやりますから。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（徳並伍朗君） 質疑なしと認め質疑を終わります。それでは、次に総務費を議題といたしますが、総務管理費のうち主要施策成果報告書37ページの地域活性化公共投資臨時交付金事業、これは繰越明許費と地域活性化きめ細かな臨時交付金事業、これも繰越明許費でございますが、40ページのきめ細かな臨時交付金事業及び41ページの住民生活に光をそそぐ交付金事業費について、所管が多課に渡っておりますので、全体説明は総合政策部がしますが、質疑につきましては在席しております各担当課が受けますので、よろしく願いをいたします。なお現在不在の担当課については、出席時にお受けいたしたいと思います。それでは執行部より説明を求めます。はい、倉重総務部次長。

総務部次長（倉重郁二君） それでは同じく35ページ、款の2 総務費の主要施策等の実施状況につきましてご説明を申し上げます。まず項の1 総務管理費・目の1 一般管理費であります。1といたしまして、職員の胸に付ける市章バッジ購入費として、13万7,000円を支出いたしております。市職員としての自覚と誇りを持たせるために、全職員に市章バッジを貸与いたしております。次に2 職員研修の経費といたしまして、212万4,000円を支出いたしております。これは山口県自治研究所で実施されております。各役職ごとの一般研修及び各分野ごとの特別研修をあわせ、27講座に94名を研修に参加させております。そのほか市独自の研修といたしまして、新規採用職員研修並びに職員メンタルヘルス研修、また市町村アカデミー、自治大学校などへの派遣など専門的な研修を実施したところでございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） ページを1枚めくって頂きまして、36ページでございます。目3男女共同参画推進事業に28万5,000円を支出しております。これは主には男女共同参画推進審議会委員への報酬でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、篠田総合政策部次長。

総合政策部次長（篠田洋司君） 4番友好都市交流事業でございます。本市の友好都市中国棗荘市への行政訪問に要する費用として、131万5,000円支出しております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 倉重総務部次長。

総務部次長（倉重郁二君） 続きまして、5 防災訓練の開催経費といたしまして、

10万6,000円を支出いたしております。昨年9月5日に伊佐中学校グラウンドに置きまして、伊佐地区総合防災訓練を400名の参加により実施いたしました。次に6防災ガイドブック作成・配付といたしまして、46万6,000円を支出いたしております。市民の皆さんに分かりやすい防災ガイドブックを作成し、市内全世帯に配付をいたしたところでございます。7J-ALERT、これは全国瞬時警報システム機器整備費といたしまして、134万4,000円であります。これは地震情報、気象情報など有事関連情報を全国に瞬時に発信する全国瞬時警報システムを整備したものでございます。市役所本庁で情報を受信するための機器を整備いたしました。経費につきましては、全額国費により実施したものでございます。次に8マイクロバス運転委託といたしまして、187万9,000円を支出いたしております。これは庁用車の運転業務を委託し実施したものでございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 9電算管理経費でございます。これに1億524万円を支出しております。これは庁舎、庁内の住民情報系のシステム、内部情報系のシステムの委託料、それから賃借料が主なものでございます。続きまして、目の2文書広報費でございます。1広報みねの発行業務800万8,000円を支出しております。これは毎月2回発行いたします広報みねの発行に携わる経費でございます。主には印刷製本費でございます。2ホームページシステム更新・機器導入経費541万5,000円を支出しております。これは現在の美祢市のホームページの更新に係る経費でございます。主には委託料となっております。

委員長（徳並伍朗君） はい、倉重総務部次長。

総務部次長（倉重郁二君） 続きまして、目の5財政管理費、1本庁舎旗ポール設置工事ですが、新たに市庁舎前に掲揚ポールを設置いたしました経費といたしまして、207万4,000円を支出いたしております。

委員長（徳並伍朗君） 久保監理課長。

総務部監理課長（久保宏二君） 続きまして、2公有財産購入費、庁舎用地取得事業経費として、2,540万円支出しております。これは旧美祢農林事務所の跡地、土地面積2,274.78平米、これを山口県から購入したものでございます。なお、建物につきましては無償で県から譲与していただきましたので、現在第3別館として、農林課並びに農業委員会が事務所として利用しております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） 倉重総務部次長。

総務部次長（倉重郁二君） 続きまして、3旧美祢農林事務所農林部庁舎改修等工事費といたしまして、644万5,000円を支出いたしております。これは手狭となりました庁舎の代替えとして活用するために、施設の改修を行ったものであります。

委員長（徳並伍朗君） はい、篠田総合政策部次長。

総合政策部次長（篠田洋司君） 続きまして、目の6企画費ですが、1行政評価システム事業につきましては、システム導入に当たって、医療職等を除く全職員を対象とした研修会開催委託料として、37万8,000円支出しております。参考までに開催回数は5回、そして委託先は有限責任監査法人トーマツ福岡事務所でございます。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 続きまして、2サインシステム整備事業でございますが、これは平成21年の繰越事業で繰越明許費でございます。工事請負費7件、それに伴う委託料が主なもので、3,307万2,000円を支出しております。37ページに移りまして、3告知放送運営費に915万8,000円を支出しております。これは美東地域におきます告知放送の事業経費でありまして、主には機器の賃借料でございます。4情報通信システム管理費125万9,000円を支出しております。これは秋芳地域の音声番組告知放送、インターネット接続サービス有線電話の運営事業にかかる経費でございます。主には昨年度発生しました災害の復旧するための業務の委託料が主なものでございます。5MYT運営事業・指定管理委託料でございますが、これに8,156万3,000円を支出しております。これは主にはMYT運営に対する指定管理委託料でございます。6区長報酬でございますが、3,047万9,000円を支出しております。これは美祢全域436区の区長に対する報酬額でございます。7区集会所建設補助金に100万2,000円を支出しております。これは市内5箇所の集会所に対する補助をおこなっております。8市立病院と美東病院の間を結ぶシャトルバス運行事業に281万2,000円を支出しております。これは平成22年8月17日より運行開始した病院間のシャトルバスの運行委託料でございます。9市長と語るまちづくり座談会でございますが、これにつきましては支出金額はございません。下の表に書いてございますとおり市民会館を始め、22年度には計5箇所の会場で、市長と語る

まちづくり座談会を開催しております。10 ケーブルテレビ加入促進事業に938万2,000円を支出しております。これは美祢市ケーブルテレビ加入促進補助金交付金要綱によりまして、美東地域、秋芳地域への加入に対する補助を行ったものであります。11 秋芳地域公共施設ケーブルテレビ加入負担金に19万1,000円を支出しております。これは秋芳地域の小・中学校、合計7校に対する山口ケーブルのケーブルテレビ加入負担金でございます。12 秋芳地域公共施設ケーブルテレビ引き込み等工事に33万1,000円を支出しております。これは上記で申し上げましたケーブルテレビ負担金7箇所に対する引き込み工事費でございます。13 廃止代替バス車内装備改造事業に669万3,000円を支出しております。これは昨年10月より旧カルスト号があんもないと号に変わりました。防長交通から船鉄バスに業務を移管しております。その際に社内の料金箱等改装に係る2台分の費用でございます。

委員長（徳並伍朗君） 篠田総合政策部次長。

総合政策部次長（篠田洋司君） 14 バイオマス事業ですが、二酸化炭素の発生が少ない自然エネルギーで化石燃料に変わるエネルギー源として活用が期待されているバイオマス事業に関しまして、バイオマスタウン構想を推進している佐賀県唐津市への先進地調査費用として、1万8,000円支出しております。続きまして、15 地域活性化・公共投資臨時交付金事業ですが、国の経済危機対策として地域における公共投資を円滑に実施することを目的に、国の平成21年度補正予算で創設された事業で、平成21年度の繰越事業でございます。本庁舎駐車場等整備工事費用として、3,705万5,000円、救助工作車更新事業として、8,255万5,000円を本事業において支出しております。続きまして、16 地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業についてですが、平成21年12月8日閣議決定された明日の安心と成長のための緊急経済対策により、地方公共団体によるきめ細やかなインフラ整備等を支援することを目的に、国の平成21年度第二次補正予算において創設された事業で、平成21年度の繰越事業分でございます。本事業により37ページから38ページに記載しておりますサインシステム整備工事など15事業、総額8,291万4,000円を支出しております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 末益美東総合支所総務課長。

美東総合支所総務課長（末益正美君） それでは次に目の7でございます。支所及び出張所費でございますが、美東、秋芳総合支所分の主なもといたしましては、1

の宿日直業務委託料でございます。これは両総合支所共に237万3,000円を支出しております。次に2の運転業務委託料、これはマイクロバスの運転業務委託料でございますが、美東総合支所分が400万円、それから秋芳総合支所分が166万円を支出しております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 倉重総務部次長。

総務部次長（倉重郁二君） 続きまして、目の9交通安全対策費でございます。1といたしまして、交通災害共済の状況でございます。支出はございませんが、市町総合事務組合で共同処理されております交通災害共済の取りまとめ事務を行っております。平成22年度交通災害共済の加入率は31.18%となりました。また給付状況につきましては表のとおりでございます。

委員長（徳並伍朗君） 前野建設課長。

建設経済部建設課長（前野兼治君） 続きまして、2交通安全施設整備事業でございますが、市道に区画線を4,773m、そのほかに道路反射鏡8基、ガードレール155m、転落防止柵21.5m、視線誘導標1基、これらを設置しております。これにつきまして、657万7,000円を支出しております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） 末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 続きまして、39ページをご覧頂きたいと思います。目10活性化対策費でございますが、1自治宝くじ助成事業に250万円を支出しております。これは財団法人自治総合センターが行います補助制度でございます。22年度は美東町ふるさとづくり推進協議会へ環境整備備品の購入ということで、250万円を支出したものでございます。

委員長（徳並伍朗君） 篠田総合政策部次長。

総合政策部次長（篠田洋司君） 2地域発信チャレンジ推進事業、美祢市の発信に意欲的な団体に対し、団体が実施する地域発信活動を支援する事業で、3団体に対し補助金90万7,000円を交付しております。続きまして、3ハッピーウエディング支援事業ですが、定住促進交流人口増加を目的に男女の出会いの場を提供するため、美祢青年会議所と委託契約を締結し、市内において2回の交流イベントを開催しております。この事業費用として、委託料90万円を支出しております。続きまして、4土地開発公社事業費補助金ですが、人口定住を目的として宅地を販売する土地開発公社の運営に対しての補助金4,000万円を支出しております。目11ふるさと創生事業費についてですが、1市民海外研修事業ですが、国際化に対

応した人材育成を目的として、次世代を担う市内中学生を対象に海外研修を行い、その費用を助成する事業でございます。これらの費用として、185万4,000円を支出しております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 内藤国体推進課長。

総務部国体推進課長（内藤賢治君） 続きまして、目の13国民体育大会費でございます。1番目といたしまして、第66回国民体育大会競技施設設備事業として、自転車競技の競技施設整備事業として、競技用サインの作成及びトンネル仮設照明設置・撤去業務を行っております。競技用サイン作製といたしまして、89万3,000円、大水峠トンネル仮設照明設置・撤去業務といたしまして、197万4,000円支出しております。また2番目といたしまして、開催協議推進強化事業委託料といたしまして、交通規制看板設置・撤去業務委託を行っております。296万1,000円の支出でございます。3番目といたしまして、おいでませ！山口国体美祢市実行委員会への補助金といたしまして、4,288万6,000円支出しております。これは自転車競技リハーサル大会開催経費を含む実行委員会への運営補助金でございます。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 目の14公共交通対策費でございます。

1番生活バス路線維持事業補助金、6事業者と書いてありますが、ブルーライン交通、船木鉄道、中国JRバス、サンデン交通、防長交通、宇部市交通事業局、この6社に対しまして、総額1億1,552万1,000円を支出しております。続きまして、地域公共交通活性化・再生総合事業費として、563万2,000円を支出しております。これは一つには美祢市地域公共交通協議会への負担金433万4,000円、それと山中・堀越地区を運行しておりますミニバス運行業務委託料について、125万5,000円を支出したものでございます。3JR美祢線利用促進事業、ご存知のとおりJR美祢線の利用促進を努めて参りました利用促進協議会に対する負担金として、10万円を支出しております。

委員長（徳並伍朗君） 篠田総合政策部次長。

総合政策部次長（篠田洋司君） それでは40ページをお開き下さい。目15ふるさと創造未来交付金事業についてです。1ふるさと創造未来交付金事業ですが、地域の活性化と地域の均衡ある発展に資する事業に対して支援する目的で21団体に対し、総額2,319万2,000円を支出しております。続きまして、目16き

め細かな交付金事業費でございます。これは平成22年10月8日閣議決定されました円高デフレのための緊急総合経済対策において、新たな交付金を創設し、地域の活性化ニーズに応じて、きめ細かな事業を実施できるよう支援を行うとされたことを踏まえ、平成22年度補正予算において創設された事業でございます。事業の詳細につきましては、本庁舎敷地内外灯設置工事など8事業を実施し、総額1,736万4,000円を支出しております。また繰越額2億111万7,000円につきましては、平成23年度で実施することとしております。41ページをお開き下さい。目17住民生活に光をそそぐ交付金事業費でございます。これは先に述べました緊急総合経済対策において、新たな交付金を創設し、これまで住民生活にとって大事な分野でありながら、光が十分に当てられてこなかった分野に対する地方の取り組みを支援することとされたことを踏まえ、平成22年度補正予算において創設された事業でございます。事業の詳細につきましては、社会福祉車両整備事業など7事業を実施し、総額1,119万4,000円を支出しております。また翌年度繰越額1,865万7,000円につきましては、平成23年度で事業を行うこととしております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 小田税務課長。

総務部税務課長（小田正幸君） 続きまして、項徴税费・目賦課徴收费でございます。主な事業といたしまして、L T A Xシステム追加導入委託料として、489万3,000円を支出しております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、杉原市民課長。

市民福祉部市民課長（杉原功一君） それでは、次のページ42ページをお開き下さい。項戸籍住民基本台帳費でございます。主な支出といたしまして、戸籍総合システム経費として、1,235万4,000円を支出しております。内訳といたしまして、戸籍総合システム・ブックレス保守委託料といたしまして、226万8,000円、戸籍総合システム借上料といたしまして、781万7,664円、戸籍総合システムソフト使用料として、226万8,000円を支出しております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） 倉重選挙管理委員会事務局長。

選挙管理委員会事務局長（倉重郁二君） 続きまして、項4選挙費・目の1選挙管理委員会費ですが、1といたしまして、憲法改正の国民投票に係る投票人名簿システム構築事業ですが、電算システム改修事業といたしまして、21年度、22年度



の2ヶ年事業で実施いたしまして、その22年分といたしまして、130万8,000円を支出いたしております。なお、この経費につきましては、全額国費で実施したものでございます。次に目の2参議院議員選挙費でございます。平成22年7月11日執行の第22回参議院議員通常選挙といたしまして、2,585万3,000円を支出しております。続いて、目3県議会議員選挙費でございます。平成23年4月10日執行の山口県議会議員一般選挙の事前準備経費といたしまして、595万3,000円を支出しております。

委員長（徳並伍朗君） 末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 続きまして、項5統計調査費でございますが、目2指定統計調査費として、国勢調査ほか四つの統計調査を実施しております。これに要する費用といたしまして、1,701万2,000円を支出しております。

委員長（徳並伍朗君） 小田税務課長。

総務部税務課長（小田正幸君） それでは歳入の市税の概要についてご説明させて頂きたいと思っております。主要施策報告書の6ページをお開き頂きたいと思っております。これにつきましては先程、財政課長のほうから概略説明がございまして一部重複することがあるかと思っておりますが、よろしく願いいたします。(3)市税の中程、市税の収入内訳の表でございます。本年度の決算額34億617万3,000円、自主財源の66.8%を占めております。なお、前年度決算額34億1,336万6,000円に対しまして、719万3,000円、率にして0.2%、それぞれ減となっておりますのでございます。次に税別につきましては、市民税、固定資産税につきましては、先程説明がありましたので、3の軽自動車税でございます。調定額が8,525万8,000円、決算額が7,996万5,000円、徴収率93.8%、これにつきましては対前年度比0.1ポイントの減、決算額99万7,000円の減でございます。次に、4の市たばこ税でございます。調定額が1億5,456万3,000円、決算額が1億5,456万3,000円となっております。率といたしまして、対前年度比1.9%、決算額といたしまして、285万2,000円、それぞれ増となっておりますのでございます。次に鉱産税、入湯税につきましても、たばこ税と同様に申告納付ということで、徴収率100%となっております。次に7の都市計画税でございます。これにつきましても、徴収率は93.7%の率となっており、これは前年度と同率でございます。次に8の特別土地保有

税につきましては、平成15年度から課税を停止しておるところでございます。次に現年度、滞納繰越分に係る収納状況の説明をさせていただきます。平成22年度美祿市各会計歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見書、緑色の製本テープをお出し頂きたいと思います。これの43ページ、44ページをお開き下さい。まず最初に一番上の表でございますが、これは市税全体を取りまとめたものでございますけど、左から調定額、収入額、不納欠損額、収納未済額、収納率をそれぞれ記載しておるところでございます。全体の収納率では92.5%、対前年度比0.5ポイント増と収納率が向上しておるところでございます。なお、税別の内訳につきましては、アからオまでそれぞれ記載をしておるところでございます。最初に、アの個人の市民税の収納率につきましては、96.2%で0.1ポイント減となっておりますが、次のイの法人市民税の収納率につきましては、99.1%で0.5ポイント増でございます。なお、個人・法人合わせました市民税全体での収納率は、96.8%で0.1ポイント増となっております。次にウの固定資産税の収納率でございます。89.5%で対前年度比1.0ポイント増と収納率を向上させておるところでございます。次にエの軽自動車税でございます。収納率93.8%で0.1ポイント減となっているところでございます。なお、最後にオの都市計画税でございますけど、収納率は93.7%、前年度と同率でございます。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 説明が終わりました。それでは質疑を行います。質疑はございませんか。はい、岩本委員。

委員（岩本明央君） 2、3お尋ねします。成果報告書の11ページですが、この中で表の中の上のほうにあります人件費でこの中でお尋ねしたいんですが、22年度中に退職をされた方、それから23年4月1日に市役所に入られた方の人数を知りたいんですが、お願いいたします。それからもう1件ですが、今、税務課長のほうから説明がありましたが、同じく6ページの市税の収入内訳というのがあります。これと数字が違うので分らないのですが、固定資産税と都市計画税、2と7のこれはだいたい一緒に当初来るわけですが、固定資産税の徴収率22年度が89.6、都市計画税が93.7という数字があります。これは特に低いんですが、原因が何であろうかということと、今後の徴収率を上げられる方法、いい方法か何かお考えであればお聞かせ願いたいということです。よろしく申し上げます。

委員長（徳並伍朗君） 倉重総務部次長。

総務部次長（倉重郁二君） まず人件費のお尋ねでございますが、退職者につま

しては27名、今年度新規採用につきましては12名と。(発言する者あり)はい。

委員長(徳並伍朗君) はい、小田税務課長。

総務部税務課長(小田正幸君) 固定資産税の収納率の低さの原因でございますけど、固定資産税の収納未済額は平成22年度末で1億9,422万円となっており、その内一部の事業所等の大口滞納者がこの中で5割以上占めており、それに伴って低い収納率となっているものでございます。収納率向上の特効薬というかそういったことにつきましては、現在一部事業所等の大口滞納者につきましては、計画的な分割納入ということで誓約書を取り、それを計画的に実行させて頂いてる状況にあります。以上です。

委員長(徳並伍朗君) はい、岩本委員。

委員(岩本明央君) それで今の2の固定資産税と7の都市計画税、これは一緒に税金の調書が来ますよね。それで数字が違うということは、やっぱり町の方の、町と言えば語弊がありますが、ほうの方のほうが成績が良くて言えば語弊がありますが、納税が良いということで解釈してもいいんでしょうか。

委員長(徳並伍朗君) はい、小田税務課長。

総務部税務課長(小田正幸君) 都市計画税につきましては、旧美祢市の中でしか賦課しておりませんので、90何%というような状況になってることでございます。

委員長(徳並伍朗君) はい、有道委員。

委員(有道典広君) ついでに岩本委員が言われましたんで、これもし徴収できなかったらその差額はどうなるんですか。例えば去年も最後には100%徴収できたかどうかと、21年度のですね。やっぱりそとの繰越がどんどんたまっていくんじゃないかと思いますが、その辺どうなんです。

委員長(徳並伍朗君) はい、小田税務課長。

総務部税務課長(小田正幸君) できるだけ現年度分に、例えば22年度であれば22年度の賦課した分を、できるだけ全額払ってもらって頂くようにしておりますけど、それがなかなか難しく、これでいえば23年度に滞納繰越分となって、23年度に繰り越す状況になっております。以上です。

委員長(徳並伍朗君) はい、有道委員。

委員(有道典広君) そしたら今予算でこれを組んでるのが、欠損になるとかそう

いうことはないわけね。

委員長（徳並伍朗君） はい、小田税務課長。

総務部税務課長（小田正幸君） その表を見ていただければ分かりますように、固定資産税につきましては不納欠損として、現年滞納合わせて986万7,000円、22年度で不納欠損しておりまして、その不納欠損の理由といたしましては、倒産、相続放棄、死亡等によりそういう状況になった人の税金を、今の額ほど不納欠損しておる状況でございます。以上です。

委員長（徳並伍朗君） その他ございませんか。はい、三好委員。

委員（三好睦子君） たばこ税の値上げで収入が増えておりますが、収入の財源にするのではなくて、予防対策で市民の健康のため妊娠中の方とか中高生たばこの害とかを予防するといったような活動のほうには使われるようなことはあったのでしょうか。お尋ねします。

委員長（徳並伍朗君） 奥田財政課長。

総務部財政課長（奥田源良君） たばこ税は一般財源でございますので、特に三好委員が言われたような財源には、直接にはあたるものではございません。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、三好委員。

委員（三好睦子君） 収納率が上がっていますが、収入未済額が少なくなって、いろいろ努力されてると思いますが、強引な滞納処分とか納税者の生活や命まではいかなくても、生活を危うくするような強引な差し押さえはされていないと思いますが、ちょっとその点をお尋ねします。

委員長（徳並伍朗君） はい、小田税務課長。

総務部税務課長（小田正幸君） 三好委員のご質問にお答えいたします。強引な差し押さえについてでございますけど、財産の差し押さえの実施につきましては、納税意志の乏しい滞納者について、財産の差し押さえを行っておるところでございます。内容につきましては、預金払戻請求権73件、不動産の差し押さえ2件、生命保険・損害保険の保険金請求権及び解約返戻金の請求権の差し押さえ8件、合計83件、額にいたしまして、約370万円の差し押さえを実施して来ました。22年につきましては。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） それではですね2点についてお伺いしたいと思います。まず

1点目につきましては歳入の概要についてということで、美祢市における依存財源ですね、これが地方交付税等踏まえて、その率が73.5%、ページは3ページです。それで自主財源が繰越金とかそういったものを踏まえて26.5%ということになっております。それで対前年度比に比べまして、依存財源が73.5となっておりますけれども、前年度の69.9%に比べて3.6%上昇し、こういった依存財源が大きくなれば財政の硬直化につながるということは、行政の皆様もご承知のとおりであると思います。そういった中、自主財源であるこの市税も円高、そしてデフレ状況、またギリシャ初の金融危機等で非常に株価も低迷しておりまして、それが今後、市税も少しずつ今回も実際下がっておりますね。そういった形で今後依存財源、財政が硬直になりつつもあるんですけれども、そういった中、今後そういった経済状況の中にあって、この依存財源をですね今回少し高くなりましたけれども、今後こういった状況が続くのか、また依存財源に多くならないように自主財源を増やして行くためには、行政としてどのような一手を打っていくか、まずこの点についてお伺いしたいとお思います。

委員長（徳並伍朗君） はい、奥田財政課長。

総務部財政課長（奥田源良君） 只今の岡山委員のご質問でございます。依存財源が増えた要因でございますけど、いわゆる国庫補助金が増えた関係、あるいは交付税も増えております。そのような関係でいわゆる自主財源が動いたのではなくて、依存財源の総額が増えた関係で、このような数字なっておりますというふうに考えております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） その辺についてもう少し詳しくですね、お話ししていただければ、市民の皆さんもようわかっていいんじゃないですかね。

総務部財政課長（奥田源良君） 申し訳ございません。先程ちょっとご説明を申し上げましたが、2年連続で豪雨災害にみまわれております。その関係で災害復旧事業の関係で国庫支出金が増えております。その関係で依存財源が増えたものと認識しております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 岡山委員。

委員（岡山 隆君） そのようにしっかりと説明していただければ、非常に分かりやすいかなと思っております。いずれにしても自主財源は前回に比べて少しは減ったけれども、そんなに大きく動いてないということは承知しております。それから

39ページに総務管理費の中でハッピーウェディング支援事業委託金ということで、90万円ついております。市内で2回交流イベントやったということでありますけれども、今後この事業ですね、回数とか場所とかこういった事業をNPOが本当に熱意を込めて運用しておられるということは承知しております。いずれにしても今少子高齢化で本当に、ここおられる方も子どもさんおられてですね、30超えても結婚しないという方もたくさんおられると。本当にこれですねそういった専門の方にですねしっかりとこういった行事をやって行くということが私、必要なことと思うんですよ。そういった出会いの場もないし、誰も最近紹介する人もいない。昔だったらそういう形で紹介する人がおりましたけれども、非常に少なくなった。問題はですねこういった事業を今後、今回は90万ついておりますけれども、今後この額を精査してですね今後運用をきちっとしていくかどうか、この点についてお尋ねしたいと思います。

委員長（徳並伍朗君） はい、篠田総合政策部次長。

総合政策部次長（篠田洋司君） 岡山委員のご質問にお答えいたします。事業検証は絶えず行っております。参加された約9割の方が委員おっしゃられるように男女の出会いの場がない、そういう場がないということでございます。また、今後の事業予定でございますが、行政評価の中でしっかり検証されるべきでございますし、その点でもしっかり検証しながら、事業継続について検討して行きたいと思えます。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） その他。大中委員。

委員（大中 宏君） 病院間で運行されていますミニシャトルバスですけど、まだ日にちが浅いから確実な数字は出にくいと思えますけど、一車あたりの利用人数とそれから一日あたりの受診科別人数が分かれば教えていただきたい。それと、最近高齢者の非常に交通事故が多いんですけど、交通災害共済の加入率というのが非常に低いわけですね。その低い原因と各地区別の加入率が分かれば教えて下さい。

委員長（徳並伍朗君） 末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 大中委員のご質問にお答えいたします。まず病院間のシャトルバスの件でございますが、誠に恐縮ですが、これ運行開始いたしまして、病院事業部のほうに運行の業務のほう移管しております。従いまして、今度席替えして病院の事業局が来た時に、再度その件について細かい数字を聞いていただくと助かります。よろしゅうございますか。

委員長（徳並伍朗君） 倉重総務部次長。

総務部次長（倉重郁二君） それでは大中委員のご質問ですが、只今地区別につきましては手元に資料がございませんので、ちょっと答弁のほうは難しいかと思えます。それと加入者の状況でございますけど、交通共済につきましてはみんなで支え合うというのが基本理念でございます。また特に高齢者につきましては、わずかな掛金で保障も得られるということでございますので、今後につきましてもこの加入促進につきましては、いろいろな方法を取りまして推進して参りたいというふうに思っております。

委員長（徳並伍朗君） はい、有道委員。

委員（有道典広君） ちょっと教えてほしいんですが、13ページの経常収支比率が86.9と低いほど良いということで、これ国の指針とかほかの、例えば何%が望ましいとか、あれば教えて下さい。なければいいです。それともう一つ、総務管理費の告知放送運営費ですかね、これMYTに加入されてない方とかいう、老人とか独居老人の方の対策はこの中に入ってるのか、やってるのかどうかを教えてください。ただければと思います。

委員長（徳並伍朗君） はい、奥田財政課長。

総務部財政課長（奥田源良君） 経常収支比率でございますけど、国が言ってる数字は、市町村では75%というふうなことを言っております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 有道委員のご質問でございますが、告知放送運営費、37ページに915万8,000円を支出しております。これにつきましては、美東地域の告知放送の運営機器の主に機器のリース料金でございます。従いまして、ご質問の中にございましたような生活弱者と申しますか、独居老人等についての費用はこの中に含まれておりませんが、独自に市単独で要綱を定めておりまして、生活保護世帯と重度身障者、非課税世帯という枠を設けて、使用料をMYT、それから山口ケーブルビジョンの加入者に対する補助を行っております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、安富委員。

委員（安富法明君） 2点ほどお聞きをします。最初にですね、決算ですからやはり税の不納といいますが、未収徴収率等がいつも出るわけですが、今税務課長のほうのほうの説明ではですね、全体として市税を見た場合には多少向上してるよとい

うことです。大きなウエイトを占める固定資産税については毎回出るんですが、大口のですね、滞納があるからということで、これはなかなか難しい面もあるかというのにはよく分かるんですが、審査意見書ですね40ページ、収納率の向上について、個別指摘事項というのが書かれております。ここで収納率の向上を求められております。言わんとすることは、税、使用料等合わせて考えた時に、どうしても税も住宅の使用料でありますとか、下水、水道も含めて、国保もそうでしょう。差はあるけれども滞納になる場合は、ほとんど同じような形で滞納になって来ると。従ってそのバラバラにですね徴収督促等行っても、なかなか改善が図られないということをお前から言われております。この中に書いてありますことは、中段の辺ですね、しかし、残念ながら市税の収納対策と公営企業である病院事業の未収金対策、住宅使用料以外は、保険料や使用料の収納率について低下もしくは一進一退の状況であり、滞納対策については日常的な取り組みがなされているとは言い難いというふうに書いてあります。税務課長は一応わずかではあるが、向上というか率が上がってるよと、努力を強調されました。この差をですね執行部のほうはどのように考えておられるのかお伺いをいたします。

委員長（徳並伍朗君） 1時間半経ちましたので、10分間ほど休憩をいたします。

午前10時58分休憩

午前11時15分再開

委員長（徳並伍朗君） 休憩前に続き委員会を開催いたします。執行部より答弁。はい、波佐間総務部長。

総務部長（波佐間 敏君） 先程、安富委員のご質問ですけれど、税、料金、使用料等の収納については市の重要な財源ということもありまして、その税の公平性を保つ上からでも、その収納率の向上を行うということは、重要な市の命題であるということ間違いのないわけですので、市のほうといたしましても、その組織的な体制について常に見直しは行っておりますけれど、この監査意見書のほうにご指摘がありますように、その市税のほうの収納率が向上する一方、他の使用料、また後程特別会計等の決算も審査もあると思いますけれど、とりわけ国民健康保険の収納状況が低下傾向にあるということの意味合いも含めてのご指摘だと思います。そういうふうの滞納対策につきましては、今後とも十分組織の見直し等も含めて検討して



参りたいというふうに考えております。なお本年度で3年目だと思いますけれど、県の職員の方を派遣して頂いて、現在、収納対策室のほうで勤務していただいておりますけれど、本年度は職員の収納対策に関わる研修会を、県の職員の方に講師として研修会を行うように計画をして、職員の資質向上にも努めたいというふうに考えております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、安富委員。

委員（安富法明君） なかなかですねおそらく市の仕事といたしますか、職務の中で収納対策の係に着いた人って、一番大変だろうというのはよく分かりますし、困難が多いこともよく分かります。しかしですね固定化をですね滞納はあらゆる部分で税であろうと、使用料であろうと、同じような方がずーっと滞納されるようなところがあります。今、総務部長が言われるように、この審査意見書にありますように組織的なものも考えて、今後取り組むということによろしいのでしょうか。

委員長（徳並伍朗君） はい、波佐間総務部長。

総務部長（波佐間 敏君） 先程も申し上げましたように、組織体制の見直しも含めてですね、収納率向上に努めていきたいというふうに考えております。

委員長（徳並伍朗君） はい、安富委員。

委員（安富法明君） 執行部のほうも言われましたようにですね、税、使用料の場合は公平性というのが、かなり一番大切な部分になるのかというふうにも思いますし、市の財源、公有の財源になるわけですから、十分に対策をですね講じていただきたいというふうに思います。あともう一つですね課長にも前お話がしてあるんですが、成果報告書の中の37ページを開けて下さい。何回か申し上げておるんですが、これは22年度の決算事業の成果報告ですが、今秋芳町地域ですか、山口ケーブルビジョンによる加入促進が進められております。市の補助とですねケーブルビジョンそのものとの加入促進との期間のズレとか、いろいろこの制度的な調整が不十分と言いますか、あるいは周知の不十分というのも何か感じます。なかなか一般の方からすると頼んでも来ないとか、ようわからんとかいうふうなのよく聞きます。それでですね、今年23年度の8月まで市の財政補助を延長しました。山口ケーブルビジョンの加入促進期間が、確か10月の末頃だったというふうに思うんです。そういうふうなズレ等も含めてですね今までの市の答弁からするとですね、美東も旧美祢地域もですね86%ぐらいだったかな、ぐらいの加入率があると、秋芳有線ですね今使っておる有線も、それを見ながら廃止の方向でもう既に計画がされ

ておりますから、旧美東町、旧美祢市相当ぐらいな加入率になるまでぐらい補助期間を年限を延長も考えて取り組むというようなことも答弁されて来ておるんですが、現状でどうなっておるのかですね、結果的にどういうふう to 今後されるのか、お伺いしておきます。

委員長（徳並伍朗君） 末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 安富委員のご質問にお答えいたします。現状のデータでございますが、現状と申しましても8月31日の加入率です。美祢地域のMYTにつきましては88.2%、美東地域の山口ケーブルビジョンに関しては84.1%、秋芳地域につきましては全世帯数を分母といたしますと66.3%、この中でも共聴施設を既にデジタル化されていらっしゃる場所がございますので、その世帯を除きますと約69%、70%弱ぐらい割合で推移をしております。こういうところで、結論から申しますと、10月31日まで秋芳地域に限り補助金を継続するというので、山口ケーブルビジョンと足並みを揃えたところなんです。今後でございますが、またこの月末に何%台になるかという推移を見まして、また検討をして参りたいと思います。今のところ11月1日以降については、未確定でございます。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、安富委員。

委員（安富法明君） 言われることはよく分かりますし、努力と言いますか、されようとしてるのも分かるんですが、どうも山口ケーブルビジョンのほうと足並みが揃うと言いますか、そういうことが大事だろうと思うんですよ。ですから例えばですよ課長が言われるように、場合によっては再度延長しても良い。延長することもあり得ると。仮にしたとした場合、今度は山口ケーブルビジョンのほうに加入促進期間を延ばしてくれるのかどうか、ということですよ。そういう辺の調整と言いますか、交渉と言いますか、その辺はどういうふう to 考えておられますかね。

委員長（徳並伍朗君） 末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 山口ケーブルビジョンのほうとの協議もしておるわけですが、現在のところ山口ケーブルビジョンからの回答としては、11月1日以降の今のような補助は行わないというような回答を頂いております。これについても、まだ時間がありますので協議はして参りたいというふう to 考えております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、安富委員。

委員（安富法明君） 結局ですね恐らくですね山口ケーブルビジョンにしたら、美祢地域の特に秋芳地域なんていうのは微々たるもんですから、それほど重きを置かんでもええと言うか、そういう話に、例えば山口とかですよ、ほかのところの大きいところで比較すると、公平性に欠けるじゃないかということもあろうかというふうに思います。ですから、そういうことを考えると、もし山口ケーブルビジョンが、これ以上延長せんよというふうな情報等があつてですね、それに合わせて少なくとも一月延長するんであれば、今未加入の方、あるいは今度有線放送施設ですよ秋芳の廃止の方向で行くのであれば、インターネットとの関係もあるわけですから、十分な周知がされたのかどうかというのがどうしても気になるですよ。どうも譲り合いというか、徹底をしてないようなところ地域におけるものとしては感じます。ですから残りわずか、残りがちょっとまだありますといつても、もう半月ぐらいのあれでしょうから、これで周知をして今からというふうなことは、恐らくこの未ぐらい10月の未ぐらいまでに周知期間をとって、加入促進を図るという効果は、あまり期待はできないだろうというふうに思っております。思いますよね。ですからそういうことと考えると、もう少しですね現状を踏まえて早め早めに対策、現状を踏まえた上での対策を講じられないものかということ常々思っておりますので、これ以上お聞きしてもなかなかあれでしょうから、一応ですね相手方もあるわけですから、十分その辺の総合的な判断をしていただくようお願いをしておきます。以上です。

委員長（徳並伍朗君） その他。はい、三好委員。

委員（三好睦子君） 主要施策成果報告書の38ページなんですけど、この中で支所及び出張所費の中で、宿日直業務委託料というのが237万3,000円、美東支所と秋芳支所に出ています。旧美祢市の豊田前、於福、厚保の出張所についてはどうなってるのでしょうか。

委員長（徳並伍朗君） はい、倉重総務部次長。

総務部次長（倉重郁二君） 細かい数字については手元にございませんで、また後程お知らせしたいというふうに思います。

委員長（徳並伍朗君） その他。はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） それではですね、主要施策成果報告書の6ページなんですけれども、この中で市税の収入内訳ということで鉱産税があります。平成22年度については、5,954万5,000円ということで、前年度に比べて率として1

2.4、鉱産税が少し増えております。それでですね今後、今年度、来年、東日本大震災関係で今後公共事業等かなり増えて来る可能性があつて、この鉱産税についても、私は増えて来るのではないかとそのように思っております。それでですね鉱産税については何トン出荷したか出荷量によって、鉱産税がかかっていると思います。トンについて何円かという形で、総トータルで出荷量について自主申告という形になっていると思います。時代の流れと言いますか、この鉱産税、この出荷量について、今後どなたが見られてもこの出荷量は間違いのない自主申告ですから、当然行政としても申告されたことに関しては、当然それを信じて税が収納される訳でありますけれども、それについてはですね、住友さん、また太平洋さん、宇部興産さん、それぞれ企業として、その辺についてしっかりとですね自主申告になっているけれども、実際の出荷するにあたってのデータと言いますか、そういったものを行政もきちっと評価して見てるかどうか、これについてですねその辺の捉え方、また当然大手の企業ですから間違いのない形で申告になっておりますけれども、いずれにしてもその辺の申告に対しては、第三者がみても間違いのないそういった形で、今まで評価、自主申告といっても評価されてるかどうか、この辺の件について、どのように評価されているかどうか、これについて収納してるか、どうかこの点について説明していただきたいと思ひます。

委員長（徳並伍朗君） はい、小田税務課長。

総務部税務課長（小田正幸君） 岡山委員の質問にお答えいたします。鉱産税につきましては、申告納付ということで、申告書を提出していただいて、その額につきまして税額を決定し、納付していただいているところであります。申告書の数字をそのまましており、出荷量についての検査といひますか、そういったものは現在のところいたしておりません。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） ただ申告書だけですから、申告書ですねデータに対して、添付資料として何らかの形で付けてですね間違いのないというものをきちっと評価していくことは、私は必要と思ひてます。ただ申告書だけで本当に良いかどうか、その辺についてはどのようにお考えなのでしょう。

委員長（徳並伍朗君） はい、小田税務課長。

総務部税務課長（小田正幸君） 現在のところ申告書のみで課税しておりますが、先進地等どういふふうには数量をチェックしているかというのを調査いたしまして、

その内容を把握できるものがございましたら、申告書に添付するようにしたいと思います。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） 今後鉱産税に関しましては、この出荷量またそういった添付資料を付けてるところもあるかと思っております。こういった形で鉱産税の取得に納付につきましては、いろいろ先進地もあります。本当に第三者がみても評価して、きちっと行政も判断して、申告に基づいて税を課してるという形になっておりますので、どうかその辺については今後、先進地そういったところをしっかりとですね視察し、見てですね、今後適切な当然今までも適切と思えますけれども、より適切にこういった鉱産税の納付をしていただくよう努力していただきたいと思っております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） ほかに。倉重総務部次長。

総務部次長（倉重郁二君） 先程の岩本委員の答弁につきまして、一つ訂正をさせていただきます。退職者数 27 名、新規 12 名と申しましたが、これは一般職に係る人数でございます。一般会計につきましては、消防費も含まれておりますので、消防職も含めると退職者は 28 名、新規採用者が 14 名となっております。すいません訂正させていただきます。

委員長（徳並伍朗君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。委員会を 1 時より再開いたします。説明員が変わりますので、時間がかかりますので、よろしく願います。

午前 11 時 35 分休憩

午後 1 時 00 分再開

委員長（徳並伍朗君） 休憩前に続き委員会を開きます

次に民生費を議題といたします。執行部より説明を求めます。佐々木地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（佐々木彰宣君） それでは民生費についてご説明いたします。平成 22 年度主要施策成果報告書 42 ページをお開き下さい。項社会福祉費・目社会福祉総務費であります。主な事業として、美祢市社会福祉協議会に対し、人件費部分、事業費部分に補助しており、6,561 万 9,000 円を負担金補助及び交付金において支出しております。次に地区民生委員、児童委員 106 名

の活動に要する経費として、一人当たり9万8,800円で1,047万3,000円を委託料として支出しております。また住宅手当緊急特別措置事業において、住宅を喪失したもの、または喪失するおそれのあるものに、住宅手当として4名の方に25万4,100円を支給し、前年度交付額確定に伴う返還金として、229万7,000円を償還金利子及び割引料として支出しております。続きまして、目障害者福祉費であります。この経費につきましては、平成21年3月に策定いたしました美祢市障害者計画並びに障害福祉計画に沿って事業を行っております。まず福祉タクシー助成事業費として、503万4,000円を支出しております。この事業は重度の1級から3級の身体障害者及び療育手帳を持つ知的障害者に対し、タクシーの割引チケット1枚500円券を48枚交付する事業であります。毎年400名から450名の申請を受け、交付しております。次に、自立支援医療費給付費として、1,846万7,000円を支出しております。この給付費は身体障害者に対する人工透析治療、心臓手術、人工間接置換手術等の厚生医療費に対する公費扶助制度であります。平成22年度におきましては、レセプト延べ件数といたしまして、702件を数えております。次の補装具給付費として、796万4,000円を支出しております。この給付費は身体障害者に対する技師、装具、車椅子及び補聴器等の交付修理を行う事業に対する公費扶助であります。平成22年度におきましては、延べ74人が利用しております。次に日常生活用具給付費として、578万9,000円を支出しております。この給付費は障害者が在宅で生活するために必要な歩行支援用具、入浴補助用具、居住環境整備、住宅改修等含まれますが、それとストマ、紙おむつ等日常生活用具の給付事業に対する公費扶助であります。平成22年度におきましては、延べ299人が利用しております。次に介護訓練等給付費として、4億854万3,000円を支出しております。この給付費は障害者自立支援法に基づく介護給付及び訓練等給付事業で主な福祉サービスといたしましては、住宅介護、ホームヘルパーの派遣、施設への短期入所、施設入所、就労継続支援等であります。平成22年度におきましては、延べ3,683人が利用しております。次に地域活動支援センター指定管理委託料として、1,199万円を支出しております。この事業は美祢市社会福祉協議会に事業を委託し、センターにおいて簡単な作業や創作活動を行うことにより、障害者の日中活動の場を確保する事業であります。市内では伊佐地区のひのでにおきまして、延べ1,869人、秋芳地区のあじさいにおきまして延べ2,392人が活動しております。次に特別障害

者手当、障害児福祉手当、福祉手当支給事業であります。まず特別障害者手当は障害者の程度が著しく重度で、常時特別の介護を必要とする満20歳以上の在宅の障害者に対し、月額2万6,440円の手当てを支給する事業で、22年度の受給者数は、18名に552万6,000円支給しております。障害児福祉手当は、障害の程度が著しく重度で、常時特別の介護を必要とする満20歳未満の在宅の障害児に対し、月額1万4,380円の手当てを支給する事業で、平成22年度の受給者数は、21名に376万8,000円支給しております。福祉手当は、昭和61年まで福祉手当を受給していた20歳以上の障害者で、障害基礎年金などの公的年金や特別障害者手当を受けていない方に月額1万4,380円の手当てを支給する事業で、平成22年度の受給者数は、1名で17万3,000円支給しております。額の大きい不用額につきましてご説明いたします。歳入歳出決算書の58、59ページをご覧ください。上段の目障害者福祉費の扶助費であります。303万6,216円の不用額が生じております。この扶助費からは自立支援医療扶助、介護訓練等扶助費、日常生活用具等、事業扶助などを支出しておりますが、介護訓練等扶助の支出が見込んだ額ほどなかったための不用額であります。

委員長（徳並伍朗君） はい、白井高齢福祉課長。

市民福祉部高齢福祉課長（白井栄次君） 続きまして、第3目老人福祉費につきましてご説明を申し上げます。まず1の緊急通報装置整備事業につきましては、市内にお住まいで、日常生活上注意を要する高齢者のみの257世帯に緊急通報装置を設置し、センター方式と転送方式により実施をしてるところでございます。支出額は委託料などで、合計で326万8,000円、負担金収入として104万2,000円を計上してございます。次に2生涯現役推進事業についてでございます。これは平成22年度から開始されました事業でございます。平成21年度末に廃止をされた老人福祉センターで実施をされておりました相談事業、あるいは教養講座開催事業等を、引き続いて移転された現在の事務所において実施するための経費でございます。平成22年度におきましては、70万4,000円を支出しております。次の3は老人保健医療事業特別会計に対する操出金でございます。1万5,000円、4につきましては、介護保険事業特別会計に対する操出金で4億3,091万4,000円でございます。続きまして、45ページの上のほうでございますけれども、5の老人保護措置事業でございます。これは山口市の秋楽園や下関市の春光苑などの養護老人ホームへの措置者に対する経費でございます。22年度にお

きましては、2,127万5,000円を支出してございます。この事業に対する財源として、負担金収入1,895万2,000円を計上しております。続きまして、6 敬老会行事開催事業でございます。昨年は豪雨災害の影響で、厚保地区におきましては中止ということでもございましたけれども、他の7地区におきましては1,084人のご参加を頂き開催をされたところでございます。これに要しました経費は478万6,000円でございます。またその下の表にございますけれども、欠席者に対するお祝い品の経費として334万1,000円、更に施設入所に対するお祝い品の経費として16万5,000円のそれぞれ支出しております。合計支出額は829万2,000円で、財源として地域福祉基金利子84万円を充当しております。次に7 生きがい活動支援通所事業でございます。これは家に閉じこもりがちな高齢者に対しまして、デイサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消や自立生活の助長を目的としております。22年度におきましては、延べ利用者が1,318人で委託料として、527万2,000円を支出してありまして、利用者からの負担金として79万円を計上してございます。続きまして、46ページをお開き願います。一番上の8 老人クラブ育成事業についてでございます。まず美祿市老人クラブ連合会に対しまして、74万7,000円、また下の表の単位老人クラブへの補助金として163万8,000円をそれぞれ支出しております。それから9 敬老祝金支給事業についてでございます。これは人生の節目を迎えられた高齢者にお祝い金を支給する事業でございますけれども、平成22年度におきましては、743人の高齢者に対しまして、合計1,286万円の支出を行っております。続きまして、10 施設整備費補助事業についてでございます。まず社会福祉法人に対する社会福祉施設整備に係る建設費補助の債務負担分として、みのり園、幸嶺園、グループホームひかり園、ケアハウス幸嶺園の4施設に対しまして、合計190万円を支出しております。次の社会福祉法人に対する社会福祉施設整備に係る建設費補助（平成23年度繰越事業）でございますけれども、この2,000万円につきましては、本年8月1日に秋芳地区に開設をされました青景園サテライト施設秋芳の里の建設に係る市の補助でございます。23年度への繰越事業となったものでございます。続きましての介護基盤緊急整備等基金補助事業2,599万8,000円につきましては、これも同じく今年の6月1日豊田前町において開所されました小規模多機能型居宅介護施設みんなの家あそこの建設に係る県費補助でございます。その下の介護基盤緊急整備等基金補助事業、こちら平成23年度繰



越事業でございますけれども1億1,600万円につきましては、先程ご説明いたしました秋芳の里の建設に係る県の補助でございます。こちらにつきましても23年度への繰越をされております。続きまして、47ページの一番上ご覧頂ければと思いますけれども、介護施設開設準備経費補助事業についてでございます。平成22年度におきましては、みんなの家あそう分として540万円、秋芳の里分として1,740万円それぞれ支出をしてるところでございます、合わせました2,280万円につきましては、全額が県費でございます。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 佐々木地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（佐々木彰宣君） それでは引き続きまして、目福祉医療助成事業費であります。重度の障害者、一人親家庭及び乳幼児を抱えておられる家庭の経済的負担の勘案を計り、安心して医療を受けて頂くことを目的とした事業です。この事業により該当される方は、医療機関の窓口においては、医療費の支払いは生じません。まず重度心身障害者に対する福祉医療費の対象者数は1,079名で、支給額は1億9,085万2,000円であります。次に乳幼児に対する福祉医療費の対象者数は837名で、支給額は3,832万1,000円あります。次にひとり親家庭に対する福祉医療費の対象者数は270名で、支給額は866万9,000円となっており、総額2億3,784万2,000円を扶助費において支出しております。また福祉医療助成事業に係る事務的経費といたしまして、454万6,000円を需用費及び役務費で支出しております。この経費につきましてはレセプト審査手数料が主な支出経費でありまして、平成22年度の審査件数は延べ4万4,410件となっております。次に額の大きい不用額につきましてご説明をいたします。歳入歳出決算書の58、59ページをご覧下さい。下段の目2福祉医療助成事業の扶助費ではありますが、339万3,769円の不用額が生じております。この扶助費からは重度心身障害者分、乳幼児分、一人親家庭分を支出しておりますが、乳幼児分の支出が見込んだ額ほどなかったための不用額であります。以上地域福祉関係の説明を終わります。

委員長（徳並伍朗君） 杉原市民課長。

市民福祉部市民課長（杉原功一君） それでは次のページをお開き下さい。目6国民年金費でございます。支出済額1,178万9,000円でございますが、このほとんどは人件費でございます。美祢市の国民年金被保険者数は平成23年3月末現在で4,576人、内訳といたしまして、第1号被保険者が2,765人、第3

号被保険者1,742人、任意加入被保険者が69人でございます。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、佐々木地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（佐々木彰宣君） それでは引き続きまして、目人権対策費であります。まず人権対策事業として、人権推進大会参加に伴う経費及び同和福祉援護資金償還金元金の返還として34万4,000円を支出しております。次に人権啓発事業として、地域住民を対象とした推進大会や学習会等の開催及び啓発作品募集等にかかる経費として34万2,000円を支出しております。人権対策費につきましては以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、白井高齢福祉課長。

市民福祉部高齢福祉課長（白井栄次君） 続きまして、第8目老人福祉施設費についてご説明を申し上げます。まず1の厚保老人憩いの家管理経費についてでございます。管理経費として170万7,000円を支出してございます。なお厚保老人の家につきましては、昨年の集中豪雨により自宅での入浴が困難となった方々に対して、7月から10月までの間入浴時間の延長、あるいは臨時解放等により対応いたしておるところでございます。続きまして、49ページの一番上でございますけれども、3嘉万老人の家管理経費でございます。延べの浴場使用者数は2,309人で、経費は261万2,000円を支出しております。次に4カルストの湯管理経費についてであります。管理経費として616万1,000円を支出しております。年間延べ浴場使用者数は1万4,691名でございます。使用料収入として639万4,000円を計上してございます。次に5番目の高齢者コミュニティセンター管理経費についてでございますけれども、これは秋芳町秋吉に設置をされております当該施設の指定管理にかかるものでございまして、委託料ほかで99万2,000円を支出しております。それから6養護老人ホーム秋楽園運営事業についてでございます。これは山口市との共同経営による養護老人ホーム秋楽園でございますけれども、管理運営にかかる分担金、それから建設にかかる分担金合せまして1,092万4,000円を支出しております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、杉原市民課長。

市民福祉部市民課長（杉原功一君） それでは続きまして、目9国民健康保険費でございます。国民健康保険事業特別会計操出金といたしまして2億4,414万6,000円を支出しております。内訳といたしまして、保険基盤安定操出金、これには保険軽減分といたしまして6,988万2,020円、同じく保険者支援分

といたしまして1,538万9,759円、職員給与費等操出金5,183万275円、出産育児一時金等操出金273万3,333円、財政安定化支援事業操出金9,163万、そしてその他の操出金といたしまして1,268万1,000円となっております。次に目10後期高齢者医療費でございます。こちらは後期高齢者医療事業特別会計への操出金でございます。後期高齢者医療費操出金といたしまして1億1,184万5,000円を支出しております。内訳といたしまして、事務費等操出金1,514万1,869円、保険基盤安定操出金9,670万2,794円となっております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、佐々木地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（佐々木彰宣君） 続きまして、項2児童福祉費・目1児童福祉総務費であります。まず研修事業委託料であります。保育の質の向上のための研修事業として、美祢市保育連盟に50万円を委託料において支出しております。次に児童クラブ研修事業として、市内の4箇所の児童クラブに57万1,000円を委託料において支出しております。次に幼児保育振興事業であります。私立保育園に対する保育士、調理師の人件費補助でありまして、年間一人当たり常勤保育士11万4,000円、調理員5万7,000円を支給するものであります。市内私立保育園4園、吉則、麦川、光輪、南大嶺に対し交付しておりまして、総額359万1,000円を負担金、補助及び交付金において支出しております。次に児童クラブ運営事業であります。市内で7箇所の児童クラブが運営されておりました、その運営費の総額2,449万1,000円を委託料において支出しております。次に児童センター美祢運営事業であります。児童の一般的な遊び場としてのほか、行事等地域の活動の拠点となる児童センター美祢の運営にかかる補助として、社会福祉法人吉則保育園に対し100万円を交付しております。平成22年度の延べ利用者数は7,543人です。次に延長保育事業であります。延長保育は11時間の開所時間の前後において、更に30分以上の延長保育を実施する事業であります。市内私立保育園3園、吉則、麦川、光輪に対し交付しておりまして、総額1,690万円を委託料において支出しております。次に子育て支援センター事業として257万6,000円を支出しております。この事業は乳幼児及びその保護者が相互の交流の場を設置し、子育てについての相談、情報の提供、助言やその他の援助を行う民営の子育て支援センターに対する運営補助金であります。次にことばの教室運営事業として424万6,000円を支出しております。この事業は

言語発達遅延児等に対する言語療法による療育事業でありまして、美祢市社会福祉協議会に委託し実施しております。対象児は小学校就学前の幼児であり、平成22年度は20名が登録し、通所しております。次にファミリーサポートセンター運営事業として253万4,000円を支出しております。この事業は仕事と子育ての両立を支援することを目的に、育児を受けたい人と協力できる人が会員となり、相互に助け合う会員組織を平成21年10月に設置し、美祢市社会福祉協議会に委託し活動を続けており、現在依頼会員166名、協力会員61名、両方会員36名が登録されておられます。平成22年度の活動件数は209件であります。次に施設改修工事費として539万7,000円を支出しております。厚保児童クラブ開設に伴う施設の改修工事費であります。続きまして、額の大きい不用額につきましてご説明いたします。歳入歳出決算書の64、65ページをご覧ください。上段の目2児童福祉総務費の負担金、補助及び交付金であります。382万1,960円の不用額が生じております。ここでの負担金、補助及び交付金では、幼児保育振興費補助金、延長保育事業補助金などを支出しておりますが、延長保育事業におきまして、1園の対象児童数が当初見込みより少なかったための補助金額の減少によるものです。続きまして、目児童措置費であります。まず一時預かり事業であります。私立保育所での一時保育実施にかかる委託料でありまして90万円を支出しております。平成22年度の対象は、吉則保育園、光輪保育園の2園でありまして、延べ利用者数は94名となっております。次に私立保育園保育委託事業であります。市内私立保育園4園への支出でありまして、総額2億864万2,000円を委託費として支出しております。次に児童手当支給事業であります。この事業は小学校修了前までの児童養育しているものに対して、3歳未満児は月額1万円、3歳以上児は月額5,000円、但し第3子以降の児童には1万円を支払う事業であります。平成22年4月からはこども手当に移行したため、平成22年2月、3月分までを支給しております。内訳といたしましては、被用者児童手当として698万円、被用者児童手当として148万円、特例給付児童手当として4万円、被用者小学校修了前特例給付として1,679万円、被用者小学校修了前特例給付として348万5,000円を支給しており、総額2,877万5,000円を扶助費において支出しております。次にこども手当支給事業であります。この事業は中学校修了前までの児童を養育しているものに対して、月額1万3,000円を支給する事業であります。児童手当から移行した事業で、平成22年4月から支給開始となっております。

ります。内訳といたしましては、3歳未満児被用者分として4,712万5,000円、3歳未満児被用者分として856万7,000円、3歳以上小学校修了前被用者分として1億8,148万円、3歳以上小学校修了前被用者分として3,636万1,000円、中学生分として8,282万3,000円を支給しております。総額3億5,635万6,000円を扶養費において支出しております。続きまして、額の大きい不用額についてご説明いたします。歳入歳出決算書の64、65ページをご覧ください。上段の目児童措置費の委託料であります。300万3,010円の不用額が生じております。ここでの委託料は、市内の私立保育園運営委託料、広域保育委託料などを支出しておりますが、私立保育園の入所児童数が見込んだ額に満たなかったことによる不用額であります。続きまして、目母子福祉費であります。これは児童扶養手当でございまして、延べ1,951名で7,398万5,000円を扶助費において支出しております。次に目児童福祉施設費であります。市内の公立保育園は10園でございまして、定員実入所児童数はご覧の表のとおりで、入所待機児童はおりません。工事請負費において、厚保保育園腐蝕柱修繕工事費13万円、豊田前保育園遊具移設工事費54万6,000円、大田保育園便所改修工事費20万円、同じく入口拡幅工事費12万6,000円等をそれぞれ支出しております。額の大きい不用額についてご説明いたします。歳入歳出決算書の64、65ページをご覧ください。下のほうですが、目児童福祉施設費の賃金であります。235万570円の不用額が生じております。ここでの賃金は公立保育園9園の臨時、パート保育士の賃金を支出しておりますが、4月からの措置児童数が予算編成時に比較して少なかったことにより、臨時、パート保育士の採用が不用となったことによる不用額であります。続きまして、項生活保護費・目生活保護総務費であります。まず生活保護総務経費といたしまして306万3,000円を支出しております。主な経費は嘱託員2名の報酬、生活保護システムの補修料等でございます。次に生活保護適正化実施推進事業であります。この事業は生活保護を適正に推進するためにね職員研修やレセプト点検等の業務委託や生活保護システム更新等を行う経費として309万5,000円を支出しております。続きまして、目扶助費であります。生活保護の被保護世帯に対し、生活扶助費ほかに2億8,889万1,000円を扶助費として支出しております。続きまして、額の大きい不用額についてご説明いたします。歳入歳出決算書の66、67ページをご覧ください。下段ですが、目扶助費の扶助費であります。2,148万8,201円の不

用額が生じております。生活困窮者が怪我や病気で医療を必要とする時に行われる医療扶助におきましてね見込んだ額に満たなかったことによる不用額であります。次に項災害救助費・目災害救助費であります。災害救助事業として6,148万4,000円を支出しております。この事業は災害救助者に対する援護事業でありましてね被災者への見舞金の支給、避難所の運営等にかかる経費であります。額の大きい不用額についてご説明いたします。同じく歳入歳出決算書の66、67ページをご覧ください。下段ですが、目災害救助費の扶助費であります。1,392万3,622円の不用額を生じております。ここでの扶助費ではね被災者更生援助扶助として災害弔慰金の支出、被災者復興支援扶助として復興支援金の支出をしておりますが、被災者復興支援扶助が見込んだ額に満たなかったことによる不用額であります。以上で民生費関係の支出に関する説明を終わります。

続きまして、歳入につきましてご説明をいたします。平成22年度美祢市各会計歳入歳出決算書中一般会計歳入歳出決算書の8ページ、9ページをご覧ください。款12分担金及び負担金・項2負担金・目1民生費負担金・節1社会福祉費負担金であります。調定額4,395万4,489円に対しまして、収入済額は4,309万3,089円でありまして、差引5万1,400円の収入未済額となっております。収入未済額5万1,400円は身体障害者福祉費負担金施設利用料であります。この未済額につきましてはね23年度中には完納となる見込みであります。次の節2児童福祉費負担金であります。調定額1億1,779万9,010円に対しまして、収入済額1億1,229万5,990円、不納欠損額60万380円、収入未済額490万2,640円は保育料負担金であります。不納欠損額60万380円につきましては、平成16年度分保育料であります。児童福祉法第56条の1項第10号の規定に基づきまして、4人分を不納欠損処理いたしました。なお現在未納分の徴収につきましては、電話催告、特に月末に担当係はもちろんですが、総合支所市民福祉課職員同伴で臨戸訪問を実施し、徴収に努めております。今後も徴収に努力することとしております。同じく決算書30、31ページをご覧ください。中程ですが、款20諸収入・項3貸付金元利収入・目2民生貸付金元利収入・節1同和福祉援護貸付金元利収入であります。今日では貸付実態はありませんが、未償還の調定額178万6,301円に対しまして、償還額が3万5,000円でありまして、償還未済額は2名分175万1,301円となっております。現在随時電話催促、臨戸訪問を実施し、借入者の理解を得ながら徴収に努めております。

今後も引き続き努力して参ります。続きまして、32、33ページをご覧ください。項6雑入・目3雑入・節3民生雑入であります。不納欠損額687万6,591円、収入未済額94万7,323円でございます。これは生活保護費返還金であります。生活保護費返還金につきましてご説明いたします。調定額952万4,659円に対しまして、収入済額170万3,745円、不納欠損額687万6,591円、収入未済額94万7,323円となっております。不納欠損額687万6,591円につきましては、生活保護法第63条及び78条にかかる返還金でありまして、地方自治法第236条の消滅時効により6人分を不納欠損処理いたしました。なお現在未納分の徴収につきましては、随時電話催告、臨戸訪問を行って徴収に努めております。以上で民生費関係の平成22年度一般会計歳入歳出執行説明状況を終わります。

委員長（徳並伍朗君） 説明が終わりました。それでは質疑を行います。質疑はございませんか。はい、三好委員。

委員（三好睦子君） すいません。勉強不足ですいません。ちょっと今聞けば生活保護の返還金というのがあるんですか。これは生活保護の受給者の資格というか、審査で、ちょっと言葉が悪いけど、悪い言葉を使ったらいけないんですけど、基準の中に当てはまらなかった人が生活保護もらったから、それを返せと言う意味なんですか。

委員長（徳並伍朗君） はい、佐々木地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（佐々木彰宣君） 生活保護の返還金につきましてご説明いたします。生活保護の返還金につきましては、遺族年金とか就労収入そういったものが発生しておりまして、その分が償還金の返還ということでなっております。当初認定の時には分からなかったものが、新たに遺族年金とかそういった収入があったために、それに対する返還金ということでございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、三好委員。

委員（三好睦子君） 分かりますけど、ちょっとこんなことを言ったら申し訳ないんですけど、認定基準に誤りがあったということなんですかね。

市民福祉部地域福祉課長（佐々木彰宣君） 認定基準には誤りがなかったんですけど、（発言する者あり）その時には分からなかったということ。そのあとに生活保護費を支給してる段階で、年金等、事業収入とか収入があったということで、それが本当なら申告をしなければいけないところを申告をされなかって、そのままの金

額をずっと支給しておったということでございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、続きどうぞ。

委員（三好睦子君） この決算書の分でページ59ページなんですけど、扶助費の不用額の説明の中で、介護訓練の見込みをなんにしておられたのか、そして実際に使われた人は何人だったとか、介護訓練というのは一番介護の一番基になるというか、介護訓練で介護がしなくて健康な生活が送れるようになるための訓練だと思いますけど、少なかった原因は何なのでしょう。（発言する者あり）訓練の中身が、本当に介護の必要とする人達の介護訓練にピッタリ合わなかった内容じゃなかったかと思うんですが、どうなのでしょう。

委員長（徳並伍朗君） 今の質問何ページ。（発言する者あり）59、目が58ページの4じゃろ。はい。

委員（三好睦子君） 確か自立支援の介護訓練って言われた気がしましたけど、間違いでしょうか。ページ59ページで。20の扶助費で説明されませんでしたかね。

委員長（徳並伍朗君） はい、佐々木地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（佐々木彰宣君） 三好委員さんの質問は、障害者福祉費の扶助費のことでございますか。それぞれの細かい数字はちょっと今手元にありませんが、居宅介護ホームヘルパー事業ですね、それとか短期入所、そういったものが当初の人数より減っておったということでございます。ちょっとすいません細かい当初の数字と現在の実数は手元にございません。

委員長（徳並伍朗君） その他。はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） 美祢市一般会計、その中の美祢市各会計歳入歳出決算書この中の67ページ、項3で生活保護費・目で2の扶助費ということで、この中で支出済額として2億8,889万799円、額が決定しておりますけれども、この中で不用額がですね2,148万8,201円ということで、かなり私はですねこれ不用額としてあるなど。それでですね、これは医療の扶助費ということで、当初使いきらなかったということで、これだけの額があるという説明はありました。それでですね、こういった生活保護を受けられて、特に医療関係で医療を受けてる。そういう中であって、非常に憲法25条で文化的な最低限度の生活を保障する最後のセーフティーネットなわけですよ。それで私はこういった方というのは、非常に健康状態もあんまりよくない厳しい状況にあるんですね。それで医療を本当に受けてい



くことが多いと思ってます。普通の人よりも。それで不用額が結構私は高いなと。その辺について行政のほうであんまり医療にかかるなとこういったことを言ってないかどうか、この辺のですね対応、その辺について、実際不用額が当初ならかなり私は、その辺の形で言われてですね抑えて行かない場合もあります。その辺についてどのようにお考え持っておられるか、その辺についてお尋ねしたいと思います。

委員長（徳並伍朗君） はい、佐々木地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（佐々木彰宣君） 医療費につきましてですが、こちらのほうから病院にかかってはいけないとか、そういったことは言っておりません。ただ個人というか、保護費をもらわれている方が、自主的に病院のほうにはいかれないだろうと思っております。

委員長（徳並伍朗君） はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） 本人が病気になれば別に本人が苦しい状態ですから、必ず私は病院に行かれると思ってます。当然そうなんですね。だけれどもこういった方というのは、なかなかいろいろ必要以上に行かれる方も中にはおられるということで、私あるんじゃないかと思ってます。普通適切にそういう医療を受けられて、対応していて問題はないと思いますけれども、中にはそういう形で何度も行かれておられる。そういったところに対してストップじゃないですけども、それがなくても限らないと私は思っております。それでですね不用額がこれ残ってるということは2,100万程度残ってますけど、これは適切な額であるかどうか、この辺の判断というのはどのようにされてるか。

委員長（徳並伍朗君） はい、佐々木地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（佐々木彰宣君） 当初の見込額につきましては、前年等考慮いたしまして、はじき出しておるところでございますが、22年度におきましては利用者が少なかったということでございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） 当初の見込額をこれを低く設定しておれば、こういった不用額も当然ないということですね。

委員長（徳並伍朗君） はい、佐々木地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（佐々木彰宣君） 当初利用者数を低く見積もっておれば、こういうことはなかったと思ってます。ただそういった場合、なければまた補正で今度是对應するようなことになるかと思えます。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、三好委員。

委員（三好睦子君） すいません度々、主要施策成果報告書の45ページなんですけども、敬老会行事開催事業で、この事業で世話をされる方が、本当にこの行事が予算が切り詰められて、本当に苦しい、運営が苦しいということ聞きました。そのことについてお尋ねしたら、老人の方には一人当たりいくらで、県下でもかなり高いところで、一番高いぐらいに支出してるよということ聞きましたけど、実際の運営というのは少なくてやりにくいのではないかと思いますけど、それで本当に予算がないのかなと思いましたが、この決算書のページ59ページで、委託料の中で125万6,000円余っていますけど、やはり敬老会行事というのは本当に地域の方がやっておられます。本当意苦しい予算の中でやっておられますので、増やして頂くような。当時いくら運営費が出されたのでしょうか、お尋ねします。

委員長（徳並伍朗君） はい、白井高齢福祉課長。

市民福祉部高齢福祉課長（白井栄次君） 失礼します。只今の三好委員のご質問にお答えいたします。この敬老会の行事の開催事業につきましては、事務費とそれから会場運営費とそれから飲食を伴いますので、それに対する一人当たりの金額を決めて運営しておるんですけども、具体的に飲食に伴う経費につきましては、一人頭4,000円という形で支出をしております。これは全地区8地区全く同じ条件で行っておるわけですけども、この今敬老会を運営しておる方法というのが、旧美祿市のやり方を承継して現在やっております。秋芳町、美東長旧の方につきましては、やり方がまだ実際に慣れていらっしゃらないという部分もあろうかと思えますけれども、年に数回そういった情報交換することによって、こうすればいいんだ、ああすればいいんだということを経験交換することで、だんだん慣れていってらっしゃるのではないかというふうに理解しておりますので、多いとは言えないかも知れませんが、有意義な使い方をして頂ければと、決まった中でやって頂ければというふうに考えております。

委員長（徳並伍朗君） はい、三好委員。

委員（三好睦子君） 事務費と運営費とがいくらか教えて下さい。

委員長（徳並伍朗君） 白井高齢福祉課長。

市民福祉部高齢福祉課長（白井栄次君） 只今の質問にお答えいたします。事務費につきましては、1回当たり1万円、それから会場運営費につきましては、1回当たり3万円とこういった経費を支出いたしております。ですから、一つの地区でも

複数回に分けて実施をされますけれども、その際には1回当たりでということになります。

委員長（徳並伍朗君） その他。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（徳並伍朗君） 質問なしと認め、質問を終わります。

次に衛生費を議題といたします。執行部より説明を求めます。はい、佐々木生活環境課長。

市民福祉部生活環境課長（佐々木郁夫君） それでは款衛生費でございます。項保健衛生費・目保健衛生総務費でございます。1番目として未給水地区飲料水水源確保事業でございます。個人12件、322万6,000円の補助金を支出しております。ページは53ページでございます。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 原川健康増進課長。

市民福祉部健康増進課長（原川清史君） それでは引き続きまして、53ページの2の食生活推進活動事業を説明させていただきます。この事業でございますが、親子の料理教室や高齢者料理教室等食生活改善を通じて地域の健康づくりの推進を図っており、延べ実施人数は1万8,160人となっており、委託料として美祢市食生活推進協議会に237万円を支出しております。次に54ページをお開き下さい。3地域医療推進協議会経費でございます。この経費は美祢市地域医療推進協議会を設置し、美祢市の地域医療の現状把握と地域医療体制の課題の検討を行い、美祢市の地域医療を支え育てる条例と美祢市の地域医療を支え育てる基本計画及びアクションプラン案の協議のため、昨年10月より3回協議を開催し、委員報酬、費用弁償等で18万1,000円を支出しております。続きまして、予防費でございます。1予防接種事業では予防接種法に基づき、急性灰白髄炎ほかの定期的予防接種及び任意接種になりますが、中学1年生から高校1年生相当の年齢の子宮頸がんワクチン等を実施いたしております。集団及び個別により9,311人に接種し、5,410万円を支出しております。2の健康増進事業では、胃がん検診から基本検診まで延べ1万1,667人に実施いたしました。健康教育、訪問指導、健康相談を延べ6,877人に実施し、その費用として4,005万1,000円を支出いたしております。3として、一昨年流行し大きな話題となりました新型インフルエンザ対策事業については、平成22年度は沈静化し低所得者層への接種扶助として一人、需用費を含め3万1,000円を支出いたしております。4女性特有

のがん検診推進事業では、子宮がん、乳がん検診に延べ303人、前年度、国・県補助金精算返還金112万円を含め332万5,000円を支出いたしております。5結核対策事業として、BCG接種、X線間接撮影を延べ2,318人に実施し、471万2,000円を支出いたしております。6自殺対策事業として、相談を受けることの多い民生児童委員に対し、研修会を3地区で実施を行い、啓発活動として、福祉の市で関連パンフレット等を配付し、13万5,000円を支出いたしております。55ページをご覧ください。7健康増進計画策定事業として、健やかで心豊かな活力あるみねの実現に向けて、地域住民が主体的に健康づくりに取り組むための健康増進計画の策定のため、健康増進計画等の策定委員会を設置し、4回の委員会を開催し、生き生き健康みね21を策定しました。この経費として48万5,000円を支出いたしております。続きまして、母子衛生費でございます。1母子保健事業として、妊婦、乳児等保健相談事業や乳児検診、1歳6ヶ月、3歳児検診など延べ6,890人、2,141万5,000円を支出いたしております。ここで歳入歳出決算書68、69ページをお開き下さい。予防費の13委託料に969万4,371円の不用額が発生しております。これは出生数の減による予防接種委託料の減、高齢者のインフルエンザ予防接種者の減、またがん検診の受診者の減による委託料の減によるものでございます。また20扶助費に1,208万9,410円の不用額が発生しております。これは平成21年度に発生しました新型インフルエンザの扶助費を平成22年度に繰越明許予算といたしましたが、平成22年度は沈静化いたしましたので、不用額となったものでございます。次に歳入歳出決算書の70、71ページをお開き下さい。母子衛生費、13の委託料において449万6,840円の不用額が発生しております。これは妊婦さんの減による妊婦検診の減、これに伴う乳児の検診の減、1歳6ヶ月検診の減によるものでございます。なお歳入につきましては、収入未済額はございません。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 佐々木生活環境課長。

市民福祉部生活環境課長（佐々木郁夫君） 続きまして55ページでございます。目環境衛生費でございます。1番の感染症予防事業でございますが、平成22年度の豪雨災害では、多くの家屋が床上床下浸水に見舞われてございます。その際には計273件、家屋の消毒を行っております。2番目の災害廃棄物処理事業でございますが、この豪雨災害で浸水をいたしました家屋のトイレにつきまして汲み取りを行っております。3番目でございますが、犬、猫等の収容でございます。快適な環

境づくりの一環として、不用な犬、猫等の引取等行っております。22年度の頭数は下記のようになっております。4番目でございます。狂犬病予防法に基づきまして、予防注射を実施しております。22年度は1,325頭でございます。5番目でございますが、中央墓園の墓地の移転工事ということでございます。中央墓園の墓地で陥没の著しい墓石につきまして、移転工事を1件行っております。6番目でございます。松ノ本墓地給水管敷設工事でございますが、美祢市大嶺町奥分でございます美祢市松ノ本墓地に水道施設等を整備いたしました。7番目でございますが、美祢発地球元気化事業でございます。白熱電球に比べまして格段にエネルギー使用料のすくないLED電球がございますけれども、地球温暖化防止にかかる市民への意識の啓発を目的としまして、LED電球を5,000円以上購入した場合には2,000円の助成をするという事業を行っております。結果でありますけれども500件分の予算に対しまして、208件の実績でございました。8番目でございますけれども、秋芳洞周辺外灯設備省エネ改修工事でございますが、これは秋芳洞観光センター周辺及び秋芳洞正面入口に向かう通路にございます外灯につきまして、これまでの水銀灯からLEDの照明器具へと替える。また、その内の3本でございますけれども外灯につきましては、ソーラーパネルのついたものとするというような省エネ改修工事を行っております。事業費は1,078万4,000円でございますけれども、その内の1,020万円が県の地域グリーンニューディール基金事業の補助金でございます。次に56ページをお開き下さい。目5火葬場費でございます。1番美祢市斎場のゆうすげ苑でございますけれども、指定管理者により管理運営を行っております。その委託料として1,695万3,000円を支出しております。2番目でございますけれども、船窪山斎場の委託料として543万6,000円を支出しております。3番目でございますけれども、船窪山斎場2号炉の再熱炉バーナーの改修工事を行っております。199万5,000円を支出しております。次に項清掃費・目清掃総務費でございます。合併浄化槽の設置整備事業として2,156万6,000円を支出しております。5人槽が23基ほかとなっております。次に目塵芥処理費でございます。1番目でございますが、ごみ処理の状況でございますけれども、可燃物約6,971トン、不燃物で委託処分したものは約215トン、埋め立て処分量は283トンというふうになっております。2番目の資源物処理状況でございますけれども、まず空き缶処理量は102トンとなっております。その他は以下のとおりでございます。次に57ページをご覧ください。

い。3でございます。集団回収量でございますけれども、量は表のとおりとなっております。次に4でございます。リサイクルセンターの管理委託料として2,113万円を支出しております。5番目でございますけれども、災害に伴う浸出水処理施設の幹線埋設管路修繕工事でございます。272万円を支出しておりますけれども、最終処分場にはこういう施設がございますけれども、22年度の豪雨災害によりまして、リサイクルセンターの水路沿いに埋めてありますこの施設のための電源を供給する幹線が、水路の路肩の土砂が流されまして、断線のおそれがあるということで、この工事を行っております。6番目でございますけれども、リサイクルセンターの作業場上屋新築工事でございます。この工事として239万4,000円を支出しております。この作業場は、市民の方が搬入された場合において、分別あるいは荷下ろし等の作業を行うところでございます。続きまして、7番目でございますけれども、美祢市最終処分場の管理委託料として704万3,000円を支出しております。8番目でございますが、災害廃棄物処理事業でございます。平成22年度の豪雨災害では、大量の災害廃棄物が発生をしております。それらは最終処分場内へと仮置きをいたしました。その分別の後には、外部へと処分の委託等を行っております。災害にかかる支出はし尿の汲み取りで162万3,000円、災害ごみの処理にかかるもので2,043万6,000円、その他2万9,000円、計約2,208万8,000円でございます。その内の2,094万5,000円が国の災害廃棄物処理事業の国庫補助金の対象とされたところでございます。その2分の1の1,047万2,000円の災害廃棄物処理事業国庫補助金が入っております。次に不用額につきましてご説明をいたします。決算書の74ページ、75ページをお開き下さい。目塵芥処理費の不用額でございます。事業費の不用額320万7,203円でございますけれども、これは主にはカルストクリーンセンターの修繕料の減によるものでございます。次に委託料でございます。1,410万5,341円の不用額でございますけれども、これは一般廃棄物の収集運搬委託料約409万6,000円の減、それから災害廃棄物の処分にかかる委託料約422万1,000円の減等々でございます。次に目使用処理費について不用額を申し上げます。決算書の76、77ページでございます。需用費の493万7,440円の不用額でございますけれども、これは主には電気料216万4,000円の減、それから修繕料262万8,000円の減によるものでございます。それでは実績報告書のほうにお戻りいただきます。57ページでございますけれども、頂水

道費でございます。目水道施設費でございますけれども、1水道事業会計操出金でございます。1億3,052万3,000円を支出しております。2簡易水道事業特別会計操出金として9,129万2,000円を支出しております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、原川健康増進課長。

市民福祉部健康増進課長（原川清史君） それでは同じく57ページをご覧ください。項病院費・1目として病院事業費でございます。その1病院事業会計操出金といたしまして、美祢市立病院に3億6,716万2,000円、美祢市立美東病院に3億7,696万2,000円を支出いたしております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 説明が終わりました。それでは質疑を行います。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（徳並伍朗君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。この際、説明員の交代のため15分間ほど休憩いたします。

午後2時25分休憩

午後2時40分再開

委員長（徳並伍朗君） 休憩前に続き委員会を開きます。

次に労働費を議題といたします。執行部より説明を求めます。はい、松野商工労働課長。

総合政策部商工労働課長（松野哲治君） それでは主要施策成果報告書の57ページ、一番下にございます款労働費・目労働諸費でございます。就職祝金でございます。これは中学校、高等学校卒業いたしまして、4月1日現在市内へ住所有するものが市内の企業に就職した場合に給付するものでございます。金額としましては、一人2万円で、平成22年度実績が14人分として28万円を交付しております。次に委託料としまして、人材・企業育成活性化事業委託料1,131万4,000円を支出しております。次に負担金、補助金及び交付金でございますが、中小企業退職金共済制度補助金として54万7,000円、美祢市勤労福祉共済会補助金8万円、連合山口美祢地協に補助金として37万5,000円を支出しております。

委員長（徳並伍朗君） はい、末藤社会教育課長。

教育委員会事務局社会教育課長（末藤勝巳君） 続きまして58ページをお開き頂

きたいと思います。2目勤労青少年ホーム費でございます。1番といたしまして、勤労青少年ホーム管理運営事業費といたしまして680万3,000円を支出しております。2番といたしまして、勤労青少年ホームの利用状況を掲載をしております。全体で1万2,724名の方が利用されたということでございます。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、松野商工労働課長。

総合政策部商工労働課長（松野哲治君） 続きまして、農村勤労福祉センター費でございます。委託料としまして、農村勤労福祉センター管理委託料として102万8,000円を支出しております。利用件数につきましては166件のご利用を頂いております。その下、勤労者福祉施設費でございます。勤労者福祉施設管理委託料として、平成21年度と同額の1,659万円を支出しております。勤労福祉会館利用件数につきましては1,831件、勤労者総合福祉センター、サンワーク美祢でございますが、利用件数は2,204件でございます。その下、シルバー人材センター運営事業費でございます。負担金、補助金及び交付金としまして、美祢市シルバー人材センター運営事業費補助金としまして1,303万6,000円を支出しております。なおこのうち県からの補助金としまして54万3,000円が美祢市のほうに入っております。以上で労働費の説明を終わります。

委員長（徳並伍朗君） 説明が終わりました。それでは質疑を行います。質疑はございませんか。はい、山本委員。

委員（山本昌二君） すいません。私の認識不足からの質問になりますが、57ページの今ご説明のありました就職祝金の件でございますが、14名、28万支出されてますが、市内へ就職した者という説明がありましたが、例えばですね家業を継いだものにはどのような方策が講じられておるか、よろしくお願いします。

委員長（徳並伍朗君） はい、松野商工労働課長。

総合政策部商工労働課長（松野哲治君） 只今のご質問にお答えいたします。この事業につきましては、就職をしたということでございまして、家業を継いだ、例えば農業の個人での、農業を例に取りますと、個人で農業を継いだというのは対象にはなっておりません。農業法人等への就職でありましたら対象となります。ですから一応企業団体等への就職を前提として支出をするようにしております。以上でございます。

委員（山本昌二君） はい、ありがとうございました。ちょっと最近この問いを受



けましたので。はい、ありがとうございました。

委員長（徳並伍朗君） 西岡委員。

委員（西岡 晃君） 労働諸費の57ページで、人材・企業活性化委託事業というのがあります。これ先に飛んでしまうんですが、商工費の中にも人材・企業育成地域共生事業委託料というのが、同じような事業がありますけど、これの違いと言いますか、どういったところが違って、どういったところに委託されて、その成果がどうだったかということが分かれば教えて頂きたいと思いますが。

委員長（徳並伍朗君） はい、松野商工労働課長。

総合政策部商工労働課長（松野哲治君） 只今のご質問にお答えいたします。労働費におきましては、就職雇用能力向上等個々に人に係わる経費を中心に予算を起こしております。商工費につきましては、後程説明をさせていただきますけども、この部分につきましては、矯正施設を活用した、矯正施設と連携した共生関連事業で予算を起こしておるものでございます。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、西岡委員。

委員（西岡 晃君） 今、労働費なんで労働費の中で今言われた人材を育成してるんだということですけども、何人ぐらい受講されて、どういった講義と言いますか、事業としての委託をしたのかということが分かればお願いします。

委員長（徳並伍朗君） 松野商工労働課長。

総合政策部商工労働課長（松野哲治君） 労働費の人材育成につきましては、就職支援事業、それとICT適用能力向上事業、それから企業家育成雇用促進民間企業、連携事業等々の事業を行っております。個別の受講者等につきましては、今手元に資料がございませんので、後程また資料を提出させて頂ければというふうに思いますが。

委員長（徳並伍朗君） その他。ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（徳並伍朗君） 質問なしと認め、質問を終わります。

次に農林費を議題といたします。執行部より説明を求めます。はい、西田農林課長。

建設経済部農林課長（西田良平君） それでは6款農林費についてご説明いたします。報告書の59ページをお願いします。目3農業振興費からご説明いたします。59ページの3の山口集落営農生産拡大事業についてですが、これは県の補助事業

で集落営農法人を対象といたしまして、生産拡大を図るための機械導入に対しまして補助金を交付するもので、下の表のとおり共同利用機械及び園芸用機械を併せて総事業費5,261万964円のうち、県と市合わせた補助金として、7法人に対しまして1,779万1,000円を支出しております。続きまして一番下の段になります。6の中山間地域等直接支払制度について、表上段に示しておりますとおり116協定1,276ヘクタールに対しまして1億5,228万8,916円を交付しております。また本事業の推進費171万1,983円、合わせまして1億5,400万1,000円を支出しております。本事業は平成12年度より開始されまして、平成22年度は第3期対策の初年度というふうになっております。それでは60ページをお開き下さい。8の米需給調整総合対策事業ですが、戸別所得補償モデル対策が実施され、これに伴いまして要件確認や推進活動費にかかる経費を補う事業として、戸別所得制度導入推進事業を実施し、これに対して503万7,000円を支出しております。その結果、参考資料としてお示ししておりますとおり、延べ人数4,889名に対し6億8,562万8,034円を、国が対象者に対し、全額を直接交付しております。続きまして、目の4農地費につきましてご説明いたします。1の土地改良補助金として、国・県の補助対象とならない比較的小規模な水路改修などを地元受益者が行う工事に対して補助金を交付する事業です。16件、441万3,000円を支出しております。続きまして、61ページの5の土地改良事業償還助成金1億6,250万5,000円を支出しております。圃場整備事業など農村整備事業の借入金の償還にかかる助成金で、美東土地改良区7,843万9,000円、秋芳町土地改良区8,406万6,000円を支出しております。続きまして、10の農地・水・環境保全向上対策事業負担金として19地区の農地1,450ヘクタール、畑46ヘクタール、合計1,496ヘクタールに対し1,670万円を支出しております。この事業は農業主体地域の住民自らが行う地域の保全活動に対しまして、10アール当たり国が50%相当額の2,200円、県と市がそれぞれ25%相当額の1,100円ずつの合わせて4,400円を交付する事業となります。地元には1,670万円の4倍となります金額、約6,600万円が交付されております。続きまして、11の県営中山間地域総合農地防災事業負担金として468万8,000円を負担しております。これは県が事業主体で伊佐町堀越地区のため池の改修のための測量と実施設計を行いました。市の負担額は事業費2,930万円に対しまして、14%相当額となっております。

続きまして、12 県営農業用河川工作物応急対策事業負担金として108万8,000円を負担しております。これも同じく県が事業主体で於福町の厚狭川に設置されております可動堰の改修に伴う測量設計を行いました。市の負担額は事業費1,360万円の5%相当額となっております。62ページをお開き下さい。13のため池等整備事業で、伊佐町牛明奥ため池の改修工事1,024万円を支出しております。続きまして、14 団体営農業用河川工作物応急対策事業で、秋芳町の郷の原可動堰の改修工事費803万2,000円を支出しております。次に目5 畜産業費の1 優良牛生産振興奨励金として、凍結精液事業で443頭67万6,000円、雌牛導入保留奨励事業として、12頭89万2,000円、合計156万8,000円を支出しております。続きまして、63ページ林業費のほうに入ります。目1 林業総務費の1 秋吉台山焼き事業につきまして、防火帯の切開及び当日の火入れにつきまして469万6,000円を支出しております。これにつきましては、お手伝いを頂いた各集落の720名分の報償費でございます。次に目2 林業振興費の2 有害鳥獣捕獲奨励事業補助金として、642万2,000円を支出しております。これはイノシシ、シカ、サルなど有害鳥獣駆除に対する補助金で、各頭数につきましては表のとおりとなっております。次に3の森林整備地域活動支援交付金といたしまして、1,531万6,000円を交付しております。まず森林施業計画の施行区域のうち施行を実施する区域を明確化するための作業に伴う交付金として1,146万2,250円、また更に施行を実施する際、境界を明確にするための草刈りや杭打ちに対しまして274万5,400円、また風倒木、雪害、鳥獣被害など森林の被害状況の確認に対しまして110万8,700円を交付しております。続きまして、64ページをお開き下さい。9の有害鳥獣被害防止対策事業として、近年イノシシ、シカ、サル以外の有害鳥獣といたしまして、アライグマの被害が発生しております。このことから箱罠及び安楽死装置を購入し、これにかかる経費18万2,000円を支出しております。次に目3 森林整備費につきまして、1 流域公益保全林整備事業につきまして2,440万8,000円を支出しております。これは国の補助事業で、美東町、伊佐町、於福町の市有林の保全管理のための下刈り、枝打ち、間伐、作業道の開設を実施しております。続きまして、目4 林道費、1の林道管理事業といたしまして294万2,000円を支出しております。これにつきましては、林道の路面補修の委託及びパラスなどの原材料費の支給を13件実施しております。次に目5 治山事業費の小規模治山工事で1,590万円を支出

しております。これにつきましては、平成22年7月15日の豪雨によりまして、  
民有林地の崩壊を復旧したもので、10箇所について実施をいたしました。この工  
事につきましては平成23年度に繰越を行いました。現時点で工事のほうは全て  
完了しております。続きまして、不用額が生じた主なものにつきましてご説明いた  
します。決算書のほうをお願いします。決算書の83ページをお願いします。目4の  
農林費でございます。農林費の工事請負費653万2,000円の不用額が生じて  
おります。これにつきましては、当初伊佐町でパイプラインの工事を予定してあり  
ましたが、地元の合意形成が図れなかったという報告を受けまして、中止をいたし  
ました。その他実施設計による減や入札減によるものでございます。続きまして、  
一番下になります。最下段になります。負担金、補助及び交付金の446万7,0  
00円の不用額につきましては、中山間地域総合整備事業、河川応急対策事業など  
の県営事業、この県営事業の事業費の減で約300万円、土地改良区の償還助成金  
で70万円、西厚保地区での事業を予定していたところ災害が発生しまして、その  
事業が中止になったもの約60万円が主な要因でございます。続きまして、85ペ  
ージをお願いします。3行目の操出金でございます。操出金につきましては、1,  
102万2,000円の不用額が生じております。これにつきましては、農業集落  
排水事業に対する操出金でございますが、修繕費、光熱水費での支出の減、また逆  
に使用料のほう当初予定よりも約200万円ほど収益増となったところが主な要  
因でございます。続きまして、87ページをお願いします。87ページの5行目に  
なります。林業振興費の負担金、補助及び交付金につきまして338万円の不用額  
が生じておりますが、これにつきましては、森林整備地域活動支援交付金で当初予  
定面積が最終的に110ヘクタール減少したためでございます。農林費については  
以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 説明が終わりました。それでは質疑を行います。質疑はご  
ざいませんか。安富委員。

委員（安富法明君） 2件ほどお聞きをいたします。1件目はですね、成果報告書  
の60ページ、農業費・農地費の1土地改良補助金16件で441万3,000  
円、事業規模にして50%ですから約この倍880万ぐらいなんです。この16  
件という件数が要望があるといいますか、市民からあるいは農業者からの要望があ  
った件数に対してどうなのかということをお聞きしたい。

委員長（徳並伍朗君） 秋枝建設経済部次長。

建設経済部次長（秋枝秀稔君） 質問にお答えいたします。この件数は要望額からはかなり要望に対してかなり予算的に厳しいということでございます。なるべくですね（発言する者あり）ということですよ。

委員長（徳並伍朗君） 安富委員。

委員（安富法明君） 件数をお聞きしたい気もせんでもないんですが、要はですね結局地区によってですね、圃場整備の償還金もかなりピークも過ぎてきて、もう減少傾向にあって、市の財政とすれば楽になっていく方向にはなってきた。片や、やりたくてもできなかった地区があるんですよ。こういうふうな小規模な単独市費でやらざるを得ないようなところが。そういうものに対して恐らく十分に答えきれない今お認めになっておるようなところがあるんですが、これは決算ですから十分にんえ切れてないと。んえきれない金額、予算規模だということですよ。それで決算1年飛んでしまうんですよ。要するにこれは22年度の決算で、23年度がもう10月で次年度の概算要求といいますか、予算案をそろそろ考えていかなくてはんけない。そういう時期にあるんですが、市長に聞けと言われるとあれですよ、またお聞きしてもいいんですが、もう少し拡充というか、予算を増額していくようなお気持ちというか姿勢があるのかどうか、お聞きをします。

委員長（徳並伍朗君） 秋枝建設経済部次長。

建設経済部次長（秋枝秀稔君） 質問にお答えいたします。確かにこの予算は大変厳しいものがございまして、皆さんの要望に全ておんえすればいいというところでございますけれども、できないということですよ。来年からですね幸い農地・水・環境保全向上対策事業のこれまでは補修についてのみ補助金が出ておりましたが、今年から補修以外の簡易的な工事につきましても出るというふうになっておりました、この件につきましては、12月補正でもお願いしておるところでございます。その辺の様子も見まして、来年度予算に向けて計画を考えて行きたいがというふうにごんえております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、安富委員。

委員（安富法明君） 農地・水・環境向上対策ですか、これは最もその事業に取り組んでいないところじゃ駄目ということですよ。それと先程も少し申し上げましたけれども、やっぱり取り組んでいるところというのは、それなりに圃場整備事業とかにも鋭意取り組んで来たようなところがやっておられるんじゃないかなというふうなことを思うんですよ。落ちこぼれをひらうような、ちょっと言葉は悪いかも

しませんが、そういうふうな考え方からすると、やはり執行部の答弁ではやっぱり十分かなというふうな認識ちょっと持てないんです。そういうことも踏まえて、是非ですね多少なりとももう少し要望に応じていけるような予算取りといいますかね、そういうふうなこと心がけてもらえないだろうかというふうなことを思います。これは市長じゃないと答えられん、そうでもない。答えられれば答えて頂きたい。

委員長（徳並伍朗君） はい、西田農林課長。

建設経済部農林課長（西田良平君） 先程次長が言いましたように、農地・水・環境保全向上対策事業の中で、向上対策事業ということで、工事が地元さんの事業主体で工事を起こすことができまして、それに対して補助金が出ているということがございますので、そちらの協定を結ばれている地区におきましては、なるべくそちらのほうで簡易的な水路補修等は対応していただければなというふうに考えております。それによりまして協定を結ばれてない、それ以外の地域に現予算を少しでも回していけるのかなというふうに思っております。もちろん事業費そのものが増額になることが一番よろしいかとは思いますが、今の予算の範囲以内で行うとするならば、向上対策ではそちらで対応し、それ以外のところにこの予算を更に充当できればなというふうに考えております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、安富委員。

委員（安富法明君） はい、分かりました。分かりましたと言うより余り分かっちゃいけないのでしょうか、やっぱりですね課長なり、秋枝次長の言われることは分からんことはないんですよ。基本的な予算の規模というのがあって、今の土建業と言いますか建設業あたりでも、総事業で400万円規模で倍にして800万円規模じゃあね。たいしたことはできないですよ。お分かりになってるというふうに思うわけです。そういうことと等考えながら是非一考していただきたいというふうに思います。もう1件あるんですが、63ページですよ、63ページから64ページの上のほうにいろんな形で出て来る有害鳥獣対策ですよ。特に最近被害が多くなってきているように思います。この特にですね捕獲駆除というのが確かに効果あるんでしょうけど、これもなかなか猟師さんの高齢化とかいろいろな制約があって、はかばかしくないんですよ。十分その辺の情報もですね掴んでおられると思うんですが、やっぱりこのここはシカと64ページに書いてあるんですが、柵ですよ。地区ですらね順次柵をやっていかれると、だんだんだんだん次から次から次の

ところに行くんですよね。ということになると、なかなかいたちごっこのみたいなところが実はある。この柵ですよね防止柵と言うんかね、この柵に対するさっきと同じような質問になるんですが、要望に対してどれくらい応えられてるか、応え切れてないのか、市としてはどういうふうに考えておられるのか、県の補助事業との関連もあるかも知れませんが、その点についてお聞きをします。

委員長（徳並伍朗君） はい、秋枝建設経済部次長。

建設経済部次長（秋枝秀稔君） 質問にお答えいたします。有害鳥獣対策につきましては、まず駆除と防止柵、この2本立てで対策をするということが基本になると思います。柵につきましては、今現在ですね今年の若干国から予算がでました。来年も引き続き国の概算要求を見ますと予算化されておるようですから、この予算はまた美祢市のほうへ予算が配分されるというふうに思っております。またこの配分につきましてもですね、協議しながら配分していくということで行っていきたいと思います。なかなかこの有害鳥獣につきましては、どこの市町も大変対策に苦慮しておるといってございまして。ということで、今来年度に向けまして防止柵の要綱を今見直しをしております、来年度予算に向けて要綱も確定していく方向で今考えております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） 安富委員。

委員（安富法明君） 広報等でですねちょっと情報をですね、どれくらい応えられるかというか、申請してもなかなかできんぞという声多くあるんですよ。そういうことと含めてその大変なのはよく分かるんですが、山側に垣すると今度反対回って川のほうから来るとか、舗装の道路の上をいくらでも今頃来るみたいな。ですから非常に頭が痛いんですが、やはり中山間地の農林業主体の美祢市として、やっぱりほうってもいけんところがあると思うんですよ。効率的な運用というのものもあるかも知れませんが、是非その辺を十分に主管課として考えた上で、対策を講じていただきたいというふうに思います。お願いをしときます。終わります。

委員長（徳並伍朗君） はい、有道委員。

委員（有道典広君） 特に質問ではないんですけど、ちょっと教えてほしいんですが、今も有害鳥獣のあれがありましたけど、イノシシやらがですね2,000頭も毎年駆除するとおらんことなるんじゃないかと言うた人がおりました。その辺も確かに美祢市に2,000頭も毎年イノシシが取れるほど駆除のほうも必要かつあれでしょうけど、その辺例えば今現状は1万頭おるけど毎年2,000頭ぐらい駆除

してるとか、ツキノワグマでもそうですけど、片方で駆除しながら片方で保護しようというようなことがならんように思うんですが、イノシシやら何匹今美祢市についているのかとか分かれば分からなかったらいいですけど。それとあとアライグマですが、これ個人的な話をして申し訳ないんですが、私の友人が福岡県の友人なんですけど、もう人間のほうに被害を相当加えていくと。最初は一匹しか見なかったけど、一匹が二匹になって三匹なって、もうしまいにはけが人が相当出ると。自分の農園だけでも相当出るという話を聞きました。今このぐらいの罠が5基ぐらいで、やるんだったら相当本腰を入れてやらないと、今までの既設の日本に昔からおった動物は違って相当凶暴ですから、その辺の対策はできてるのかというのだけちょっとお聞きしたい。

委員長（徳並伍朗君） 秋枝建設経済部次長。

建設経済部次長（秋枝秀稔君） ご質問にお答えいたします。イノシシのですね相当数の把握はしておりませんが、繁殖力がかなり強いということで、この2,000頭の大台は余りかわらんのじゃないかというふうな思いはしております。それからアライグマにつきましては、いろんな情報がございまして、これは夜中に活動するというので、なかなか皆さんの目につかない訳でありますけど、これがある程度数揃いますとある日突然ポッと増えるということで、大変注目しております。農林課としても対策を急がなくてはいけないということで、罠を買ったわけでございます。また必要とあれば罠とか対策をしっかりしていきたいというふうに考えております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、河本委員。

委員（河本芳久君） 59ページの3のやまぐち集落営農生産拡大事業と、このことを通して一つお聞きしたいんです。というのは、これから国は関税の撤廃等TPPに係わる問題で足腰の強い農業。それがためには、今さかんに20や30ヘクタールの経営規模の拡大をもつ法人企業等の育成と。美祢市は今この法人または特団、認定農業者等に対してどういう考えを持っておられるか。というのは、この今決算書を見ますと、集落営農法人を核とした産地づくりを支援するというので、大型機械の導入にわたって4団体がコンバイン、トラクター等の支援を受けておられる。農業用施設について3団体がハウス等の施設にかなりの支援策をやっておられる。これはいいんです。私の言いたいのは、特団や認定農業者たちに何ら恩典がないんじゃないかと。従来は県事業であれば1,000万円の事業費がありますけ



れども、特団や認定農業者が申請すれば何らかの対応があったけれども、今こういった支援策は、全て法人に限定されてるやに伺っておるんです。現に。認定農業者で10ヘクタール以上の耕地を確定された人達は、事業継続にはどうしても機械の更新もいる。そして経営を安定させるためには、いろいろ工夫するけれども支援策がないと。そこでこの1事業を取ってみても、等とあるけれども等は実際は無視されているんじゃないかと。いわゆる農業法人に集中していこうというそういう姿勢であるかどうか。例えば秋芳地区においては1,000ヘクタール農地、その内の何%を法人がやってるか。現在法人は1法人、2法人ができて、3法人ぐらいは可能性がある。あと特団が3、認定農業者がかなりおられます。そういった人達が経営努力しながら支援策を求めても対象にしていけない。そういう実態がいろいろ声としてあがっておるんです。この予算の中で等とあるが、これ全部法人が対象ですか、それともそういう特団や認定農業者にも、例えばパイプハウスで、このアスパラの栽培に一つ挑戦してみよう。ほうれん草の事業に挑戦してみようと、そういった人達に対する対応は、この事業では取り上げられていたかどうか確認したいんです。そして方向性として、美祿の農業をそういう法人化に向けてやろうとするのか、一方では国は所得戸別保障で兼業農家にも支援策をどんどん出しておられる。大変矛盾してるような思いをするんです。本当にこれからの地域の農業をどういう方向で支えていこうとするか、その辺についてお応え願います。

委員長（徳並伍朗君） はい、秋枝建設経済部次長。

建設経済部次長（秋枝秀稔君） 質問にお答えいたします。言われましたとおりこれは県事業でございます、県の要綱に基づいて市を通して支援しておるというこういう形の要綱になっております。市としましては、農業法人だけで美祿市の農業支えられるというふうに考えておりません。認定農業者と個人農業者、それぞれ役割分担しながらやって行くという、こういう形で農業を推進して行くというふうに考えております。県のほうは今のところ予算的な関係もございまして、集落営農法人について補助金を出しております。市のほうもですねこれからいろいろ検討がありますが、当面集落営農法人について県の要綱に沿って補助事業を行っていくというふうな考えを持っております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、河本委員。

委員（河本芳久君） 農業経営の中で一番の投資は機械です。七、八百万円から1,000万円はかかるわけです、トラクター1台でも。これを個人で買って実際

に償還していったら、やはり利益が出ないと償還ができない。これが実態なんです。それと県は今の2分の1以内を支援してやりましょうと。市はゼロ円になっている。ハウス等はこれは市は300万円を計上しておられます、決算で。そこで私は数字を云々なくて、そういう数字が出て決算があがってれば、やはり農業振興にどのような取り組みをされたかというのは、この数字を見れば分かる訳です。もう少し市独自の農業施策をひとつしっかり24年度予算で計上してほしい。そういうことを要望として出しておきたいんです。これから農業が足腰が強くなるためには、ある程度組織を作って、そして規模拡大をしなくては生き残られません。そういう姿が美祿市の農政の中に数字の中に出てこんど、農家は行政と連携しながら地域農業の振興を図ろうと、なかなかその気になれない。そういう思いを持っていますので、是非等の法人だけじゃなく、等のそういう組織も地域の農地を集めて、そして共同化してやってるわけです。そういう意味で国の施策も一方では個別にあり、片方では法人なり株式会社にといい、その辺の姿が我々はっきり見えない。そういうことで市独自のやはり農業政策をしっかりと打ち立ててほしい。これが私の要望です。何か意見があれば一つ付け加えて下さい。

委員長（徳並伍朗君） ありますか。なければいいですよ。はい、秋枝建設経済部次長。

建設経済部次長（秋枝秀稔君） ありがとうございます。24年度予算に向けまして、今いろいろ検討しておりますが、また予算につきましては、しっかりお願いをしていきたいというふうに思っております。よろしく願いいたします。

委員長（徳並伍朗君） はい、田邊委員。

委員（田邊諄祐君） 今、河本委員が言われましたけど、私は正直なところ自分で言うとおかしいんですけど、新規就労者の第1号なんですよ。昔はですね農林業、林業があったから農業が成り立ったと思うんですよ。今は林業は全然成り立たないと。農業だけだと。話が行ったり来たりしますけど、新規就労者で第1号でもう十何年なるんですね。今言われましたように機械の更新時期にきてるんだけど、なかなか収益があがらるので、更新するのに大変だと思うんですよ。ですからその辺を今法人で県や国、市は育ててますけど集落営農でですね、育ててますけど、その辺はやっぱり考慮した考え方でやらないと、なかなかうまく成功しないと思います。それから今言いましたように、やっぱり林業のほうも本当に力を入れて頂いて、詳しくは言いませんけど、何を言わんとするかは、おわかりだと思いますので、バイオ

マス関係のことも是非検討して頂いてがんばって頂くようによろしくお願ひしたいと思ひます。それに対しまして、是非、秋枝次長よろしくお願ひします。

委員長（徳並伍朗君） 回答はいいですか。（「回答お願ひしたいんですが。」と呼ぶ者あり）回答お願ひしたいって。はい、秋枝建設経済部次長。

建設経済部次長（秋枝秀稔君） 質問というか要望でございましたが、確かにですね林業のほうもなかなか難しいという時代に入っておりますですね。昔は農業と林業でですね成り立っておった時代もあったと思ひますけど、なかなか難しいと言うことで、バイオマスができましたが、バイオマスにつきましては、今国のほうの動きもありまして、この辺も市として大変注目をしてまして、その辺も国のほうから施策が打ち出さましたら、どうしても国の補助がある程度頼らんとはいけませんので、その辺でまた新しい施策が出せるかということも考えておりますので、またよろしくお願ひいたします。

委員長（徳並伍朗君） もう質疑ほかにございませんか。はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） それでは64ページの林業費で目5で治山事業費であります。小規模治山工事で民有林地山地崩壊復旧等工事で10件、平成22年度では行われております。昨年とそして一昨年これによって、そういった民有林地が崩壊して、22年度は10件、実際県の予算が県が2分の1の補助、市が6分の1の補助、受益者が3分の1の支払いという形になっておりますけれども、県の予算がある関係上、実際私が聞いているのは、かなりのこういった治山ですね小規模治山工事をですね、お願ひしたいという件数は相当50件ぐらい以上私あるんじゃないかと思っております。実際毎年10件ぐらい程度で、県の予算がないからということで、10件程度になってると思ひますけれども、実際ですね今後申請される方、申請の順番が早いのか、規模の大きさによってこの順番をこの工事を行われるかどうか、この辺の捉え方というのはどのようにされてるか、この辺をちょっと明確にして頂きたいと思ひます。

委員長（徳並伍朗君） はい、西田農林課長。

建設経済部農林課長（西田良平君） ご質問にお答えいたします。治山事業、小規模治山工事につきましては、言われましたとおり積み残しと申ひますが、要望に対して工事のほうが遅れている状況にあります。これは県の補助事業ということになるわけですが、今回、平成22年度で10件ほど行っておるんですけども、通常の災害と申ひますが、この場合であれば県のほうが通常であれば1件ないし2件

の補助金しか頂けないという状況の中で、平成21年度及び22年度につきましては、10件程度できるように県のほうも補助を頂いたということがございます。ということで積み残し部分につきましては、現在裏山の崩土はまず取り除くということを行いまして、その後ブルーシートとかそういうことで養生をして頂いてるというふうな状況でございます。それで積み残し部分につきましては、やっぱり同じ小規模治山とは言え危険度というのがいろいろございます。あきらかにこれ以上の雨が降った場合に、これが崩れた場合に家が崩壊してしまうような場合には、まずそちらのほうからの優先順位ということで、順位的には危険度を判断いたして、そこから行うということにしております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） 昨年、一昨年のこの水害等で治山工事に当たる対象、22年度は10件でしたけども、実際あと何件ぐらい残ってるのかどうか。それで実際皆さんも今行政が言われたように危険度を第1優先にこういった工事をやってるか、してるということを、まだまだ皆さん何で家のところさえ皆さんにとって裏山が崩壊してるというのは恐ろしい。ビニールシートもひいてやってると。実際危険度を優先的にやってることがありましたので、その辺がまだまだ皆さんには理解されていない部分がありますので、その辺についても明確にせんにゃいけんともあります。今積み残しが何件かということと、今後あと積み残しをどういう形でこれを治山工事としてやっていくか、その方向性についてちょっとお尋ねしたい。

委員長（徳並伍朗君） 西田農林課長。

建設経済部農林課長（西田良平君） 只今のご質問ですが、積み残しは約30件でございます。それであと何しろ県のほうから2分の1の補助を頂いておりまして、この小規模治山工事というのの最高額が、600万円を限度として工事のほうが採択されます。となりますとこれに対しまして、市の補助金、あるいは地元さんもその内の3分の1を補助するというので、その辺を十分に検討、数百万円の負担金ということになりますので、その辺を災害が起きた場合、地元に行きまして状況見て、そして地元の方にもご説明した上でご判断を頂くというふうな状況でございます。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） だからですね、あと積み残しが30件あるということをおっしゃったので、実際当事者にとっては、これからあれでもまた来年等大雨あったら

更に崩れて危険と思われてる方がたくさんおられます。それです。ね。どういう形で優先順位危険度があってやっておるということをしっかりと説明してですね、そしてそういったところから判断すれば、お宅は来年度の何番目になりますと。そういった優先順位を危険度から見たらそういう順番になりますという、そういうものをきちっと書面なりなんか報告をしていかないと、いつまで経っても連絡なしと一体どうなってるのかという、そういう声を聞いておりますので、どうかその辺の対応をしっかりと行って頂きたいということを要望して、私の質問終わります。

委員長（徳並伍朗君） その他ご意見はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（徳並伍朗君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

次に商工費を議題といたします。執行部より説明を求めます。はい、松野商工労働課長。

総合政策部商工労働課長（松野哲治君） それでは報告書の64ページの一番下でございます。款商工費・1目商工総務費のご説明を申し上げます。初めに報酬としまして、矯正施設活性化推進室相談員報酬72万円、人材・企業育成地域共生事業委託料584万8,000円、竹材資源活用事業運営補助金1,700万円を支出しております。続きまして、65ページ、目2商工振興費でございます。まず、ふるさとまつり、アンモナイトフェスティバルでございますが、昨年7月豪雨によりますということで中止とさせていただき、必要経費のみの委託料30万6,000円、みね桜まつり委託料51万8,000円、続きまして、市商工会に委託しました市商業現況調査業務委託料としまして160万円、市商工会運営事業補助金970万円、商品券発行事業補助金カルストさくら振興券でございますが630万円、美祢駅前空き家店舗対策事業に1店舗該当がございましたので補助金として33万7,000円、商工貯蓄共済融資制度保証料補給補助金177万4,000円、市制度融資保証料補給補助金としまして37万4,000円、市制度融資利子補給補助金としまして49万6,000円でございます。続きまして、緊急雇用創出事業委託料798万円、ふるさと雇用再生特別交付金事業委託料742万5,000円を支出しております。目3流通対策費でございます。消費生活問題広報啓発活動等委託料としまして16万円を支出しております。

委員長（徳並伍朗君） はい、綿谷観光振興課長。

総合観光部観光振興課長（綿谷敦朗君） それでは目4観光費についてご説明いた

します。ふるさと雇用再生特別交付金事業委託料500万円、県観光連盟負担金163万9,000円、市観光協会補助金600万円、産業観光推進協議会負担金40万円、秋吉台観光まつり補助金562万円、秋吉台エコツーリズム協会負担金57万6,000円、ながと路観光連絡協議会負担金45万6,000円、長州路観光連絡協議会負担金16万1,000円、おいでませ山口観光キャンペーン推進協議会負担金85万1,000円を支出しております。次に下関・長門・美祢広域観光推進事業費負担金として22万4,000円を支出いたしております。

委員長（徳並伍朗君） はい、大野観光総務課長。

総合観光部観光総務課長（大野義昭君） 続きまして、11観光事業特別会計操出金が1,332万4,000円、これにつきましては、秋吉台リフレッシュパークの起債償還金の交付税算入分が909万5,000円、それとトロン温泉の福祉分で一般入浴客と市民の入浴料金の差額の補てん部分が264万7,800円、それとバス運行経費分が158万1,000円のそれぞれの合計金額でございます。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、松野商工労働課長。

総合政策部商工労働課長（松野哲治君） 続きまして、目5道の駅管理経費につきまして、道の駅みとうの清掃委託料としまして174万4,000円、同じく道の駅みとうの駐車場区画線の引き直しに49万3,000円、浄化槽維持管理委託料31万1,000円でございます。続きまして、目6産業技術センター費でございます。産業技術センター管理委託料といたしまして102万8,000円を支出しております。両件数につきましては94件の利用を頂いております。続きまして、ページをめくって頂きまして、66ページでございます。目7企業誘致対策費でございます。負担金、補助金及び交付金としまして、山口県企業誘致推進連絡会議負担金73万円を支出しております。最後でございますが、目8十文字工業団地給水施設費でございます。水質検査業務委託料54万5,000円を支出しているところでございます。以上で商工費の説明を終わります。

委員長（徳並伍朗君） 説明が終わりました。それでは質疑を行います。質疑はございませんか。はい、山中委員。

委員（山中佳子君） 目4観光費です。5番の秋吉台観光まつり補助金が562万円になっておりますが、これは花火大会は中止になってると思うんですけども、それでもこれぐらいかかったんでしょうか。

委員長（徳並伍朗君） はい、綿谷観光振興課長。

総合観光部観光真紅課長（綿谷敦朗君） 質問にお答えいたします。花火大会は中止しておりますが、中止の決定が花火大会当日間際ということでございまして、キャンセル料が発生をしております。また、それまでのポスター、告知放送等の準備経費もかかっておりますので、そういった面も含めまして562万円を補助金として支出しております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（徳並伍朗君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。ここで1時間ぐらい経ちましたので、3時55分まで休憩いたします。

午後3時42分休憩

午後3時55分再開

委員長（徳並伍朗君） 休憩前に続き委員会を開催いたします。先程西岡委員から質問がありました人材育成事業の関係で、松野商工労働課長のほうよりお答えをいたします。はい、松野商工労働課長。

総合政策部商工労働課長（松野哲治君） 先程、西岡委員からご質問がございました実績数値等でございますけども、資料57ページの労働諸費の中の人材・企業育成活性化事業委託料でございます。この内訳でございますけども、就職支援等の事業におきまして、雇用促進のための就職支援講座を開催しまして、250名の参加をみております。それから職業紹介等におきまして916名の相談を受けております。それからICT等の事業、講座を開きまして受講者が165名でございます。それから企業化育成の講座を開催しまして受講者が27名、それから雇用促進民間企業連携事業としまして、商工会のほうに委託しまして、企業紹介のパンフレット500部作成しております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） それでは次に土木費を議題といたします。執行部より説明を求めます。はい、前野建設課長。

建設経済部建設課長（前野兼治君） それでは66ページでございます。土木費・土木管理費・1目土木総務費1,507万1,000円を支出いたしております。主な事業といたしまして、高規格道路十文字秋吉台インターチェンジの開通式の経費といたしまして16万円。それと道路台帳修正業務委託料246万1,000

円、市道街灯等電気代474万4,000円、地震防災ハザードマップ作成業務委託料451万5,000円を支出しております。次に2目地籍調査費、地籍調査事業補助対象分でございますが1億1,268万円を支出いたしております。主な事業といたしまして、美祢地域の調査面積2.44平方キロ、調査区が東厚保、大嶺町の一部でございます。美東地域においては調査面積3.71平方キロ、大田の岩波、長田の町絵地域でございます。下の表に進捗状況をお示ししております。なお、この欄の右端に不用額295万9,000円ございますが、これは測量調査業務の委託料の入札減であります。続きまして、道路橋梁費の道路維持費でございます。道路維持事業といたしまして1億726万7,000円を支出しております。主な事業といたしまして、市道の美化活動報償費234万1,000円、これにつきましては85件の申請がございました。次に、道路整備工事といたしまして、46件で6,913万3,000円で、うち主なものといたしまして、67ページのほうに市道德定北川線舗装補修工事として2,299万5,000円を支出いたしております。先程6,913万3,000円というのは合計した数字でございます。下に市道の状況の表を付けております。続きまして、道路新設改良費、補助対象分でございますが328万9,000円、主な工事といたしまして、市道沖田1号線、道路改良に伴います水道管敷設工事322万3,000円、地域活力基盤創造交付金事業、補助対象分でございますが7,254万7,000円、主な工事といたしまして、市道秋吉小学校線の改良で、合計をいたしますと6,729万5,000円を支出いたしております。道路新設改良事業で1億1,733万5,000円、市道岩ヶ河内線測量設計業務で2,163万円、市道佐山本線舗装工事外で4,552万3,000円、市道滝口線道路改良工事外で3,147万1,000円でございます。それと土地購入費といたしまして37万4,000円、それと合わせまして、県が行う事業の負担金といたしまして1,795万2,000円を支出いたしております。なお、その一覧につきましては下の表に付けてございます。なお、この目において2,237万8,000円の不用額がございますが、主なものといたしましては、工事の入札減によるものでございます。次のページ68ページですが、橋梁点検を17橋実施してありまして、178万5,000円を支出いたしております。続きまして、都市計画費、2の街路事業費でございますが、2のまちづくり交付金事業といたしまして、都市計画道路渋倉伊佐線歩道整備、それと植栽、照明施設整備工事といたしまして902万9,000円を支出しており



ます。3の社会資本整備総合交付金事業として、渋谷伊佐線道路改良に伴います調査・設計と幅員見直しに伴います図面作成に1,120万4,000円を支出しております。続きまして、都市公園管理費の公園管理経費といたしまして1,816万9,000円を支出しております。建設課が所管しております都市公園、その他の公園につきましては、下の表のとおりでございます。続きまして69ページですが、同じく都市公園管理費で2の桜山公園事業として、清掃委託、管理業務委託として539万3,000円を支出しております。次に4の都市排水路整備費、都市排水路整備事業費が3,623万1,000円で、主なものといたしまして、吉則第一踏切横断排水路測量設計業務として690万9,000円、それと下村地区都市排水路整備工事ほかといたしまして2,786万2,000円を支出いたしております。なお、ここに203万2,000円の不用額がございますが、この主な理由はJR等の災害もございました。従って、JR等の調整によって22年度施工できなかったことにより測量設計委託料を次年度へ延期したこと、あるいは工事請負費の一部入札減であります。その下、都市排水路管理費でございますが、大嶺町山下地区のポンプ場の維持管理といたしまして36万3,000円を支出いたしております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、奥田財政課長。

総務部財政課長（奥田源良君） 6目公共下水道事業費でございます。公共下水道事業会計操出金を5億8,729万5,000円繰り出しております。これは公共事業会計の事務費等、建設事業費等に対する操出金でございます。不用額の2,291万5,000円は、公共下水道事業会計において実施した管渠敷設工事の落札減、あるいは建設改良事業量の見直しにより事業費が減少したことにより、操出を減額したものでございます。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、前野建設課長。

建設経済部建設課長（前野兼治君） 続きまして、その下でございますが、河川総務費といたしまして、御山川樋門管理委託10万2,000円、2の河川維持経費といたしまして、護岸工事を2件、浚渫工事を3件やっております、合わせて602万7,000円を支出いたしております。3の河川公園管理費ですが、主に高山河川公園、大田河川公園等の管理経費として132万8,000円を支出いたしております。続きまして、70ページでございます。住宅費でございます。住宅管理費といたしまして3,090万8,000円を支出しております。特に、この欄

におきましては、旦の岡住宅フェンス補修工事と八重団地公園の舗装工事を行いまして、ほかにつきましては例年と変わったものはありません。下の表につきましては、市営住宅の状況を付してございます。続きまして、同じく住宅費、住宅建築費 1 目高齢者向け優良賃貸住宅事業でございますが、美祢市において二つの賃貸住宅がございます。その利子補給といたしまして 1 0 2 万 6 , 0 0 0 円、2 の地域住宅交付金で補助対象分でございますが、主な事業といたしまして、下領北団地解体工事といたしまして、1 , 9 3 2 万円、それと県公社賃貸住宅の温湯団地、それと温湯第 2 団地の建物を県からの買い取りとして 8 , 7 9 2 万 7 , 0 0 0 円を支出いたしております。それと下領北団地 B 棟建替に伴います移転賠償として 2 1 4 万 6 , 0 0 0 円を支出いたしております。なお、ここにおいて不用額が 1 , 0 4 3 万 6 , 0 0 0 円でございますが、これの主な理由は下領北団地解体工事費の入札減等でございます。続きまして、併せて歳入のご説明を申し上げます。住宅使用料でございますが、お手元に美祢市各会計歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見書というのがございます。これをお開き下さい。ページが 4 6 ページでございます。4 6 ページの中程でございます。左から調定額、収入額、不納欠損額、未納未済額、収納率が記載されております。収納率につきましては、わずかではございますが、前年に比べますと 2 ポイント上がっておるような状況でございます。なお不納欠損といたしまして、1 1 6 万 9 , 0 0 0 円を実施いたしております。これにつきましては使用者が入居中に死亡し、なおかつ、その相続権者が相続放棄したというものが 1 件、それと無断転居いたしまして、所在が不明のため請求ができないというものが 3 件、合わせて計 4 件分を不納欠損額として挙げたものでございます。収入未済額としては、2 , 0 0 7 万 9 , 0 0 0 円と依然として多額ではございますけども、更に収納率を高め未済額を少しでも減らすということと併せて、公平な住宅使用料の徴収に努めて行きたいというふうに今考えておるところでございます。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 説明が終わりました。それでは質疑を行います。質疑はございませんか。はい、柴崎委員。

委員（柴崎修一郎君） すいません。6 6 ページですけど地籍調査。これを見ますと今、東厚保から大嶺町中村、上領まで一応済んでると思います。私もなんて言いますか立会はしたわけですけど、お年寄りがおられてもう腰が足がいうこときかないということで、私は自分の山ということで一応出たんですけど、大汗かいて倒れ

る寸前までいったわけですけど、結局目印となるものもない、それからやぶだらけ、それから後継者もないという荒れ放題の山ばかりだったわけですけど、そういう中で、今の今年ですか北分のほうまで地籍調査進んでると思います。これがどンドンどンドン進んでですね、最終的には美祢市の端は於福になるわけですけど、あれまで行くのにどれぐらい年数がかかるのか、その点ちょっと第一点お伺いいたします。

委員長（徳並伍朗君） はい、伊藤建設部長。

建設経済部長（伊藤康文君） 只今の資料の66ページに中断に地籍調査費ございまして、進捗率右端にございます。約40%ということで、ご覧のように美祢地域と美東地域が残ってるわけですが、あと60%あるということになります。例年5から6平方キロ処理しております。だいたいパーセントで言いますと、1.2、3%とあと60%あるということですから、このペースで行けば50年前後ということになります。このことにつきましては、前回にもほかの委員からご指摘がございました。このまま行くとここにおる方もというようなことになりますので、どうだろうかということだと思うわけですが、積み重ねの中でするしかないという事業でございます。反面市が何ぼ予算を用意しましても、これは国の負担事業でございます。それには国も50%、県が25%、その25%がなかなか出せない状況に山口県のほうではなっております。その中で最大限頂きたいということで頑張っております。全国的には50%、山口県下もだいたい50%です。美祢市が40%ですから、若干遅れ気味ということですが、前も言いましたけど確実な山とかの測量精度、その辺の技術精度が機械が革新的なものができるとか、そういうものに今夢みたいなことを言ってますが、期待しまして上空から宇宙から見えるような状況になるのではなからうかと。現在、今先程柴崎委員の言われました、現実的に山に上がって境界見てとかいうこともなかなか難しい状況になってます。その辺も含めまして、今後革新的なものを期待してるという状況でふがないことではございますが、その中で一生懸命進捗を高めたいということで、当面の回答にさせて頂きたいと思っております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（徳並伍朗君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。この際、説明員交代のため、10分間ですから25分より消防費のほうに入りたいと思います。よろし

くお願いします。

午後 4 時 1 5 分休憩

---

午後 4 時 2 5 分再開

委員長（徳並伍朗君） 休憩前に続き委員会を開きます。

次に消防費を議題といたします。執行部より説明を求めます。はい、田畑消防本部次長。

消防本部次長（田畑龍男君） それでは主要施策成果報告書の 7 0 ページをお開き願います。下段にあります款消防費・項消防費・目常備消防費でございます。業務の主なもの、特異なものについてご説明申し上げます。1 番東日本大震災緊急消防援助隊派遣経費として 2 7 万 2 , 0 0 0 円を支出しております。これは 3 月 1 1 日に東北地方で発生しました地震により甚大な被害が発生し、緊急消防援助隊の出動要請がありました。当消防本部から救急隊として 4 名の隊員が 3 月 1 4 日から 2 2 日の 9 日間、宮城県の石巻市に出動した活動行った際の経費でございます。2 番目として救急救命士養成経費として 2 4 8 万 3 , 0 0 0 円を支出しております。これは救急救命士の国家試験の受験資格を取得するために、研修所に約半年間入所した経費でございます。3 番目の救急救命士薬剤投与追加講習派遣経費として 1 0 6 万 6 , 0 0 0 円、4 番目の救急救命士気管挿管追加講習派遣経費として 2 7 万 8 , 0 0 0 円を支出しております。この二つの追加講習は、救急救命士が医師の指示を受けて薬剤の投与、気管挿管を実施できる資格を得るための講習研修経費であります。次のページ 7 1 ページをご覧ください。7 番としまして、消防隊員用防火服整備費として 6 0 万 8 , 0 0 0 円を支出しております。防火服の整備につきましては、5 ヶ年計画で整備を行い今回で完了し、5 5 着の防火服を整備いたしました。次に 1 0 番高度救命用資機材の整備で 8 8 万 2 , 0 0 0 円を支出しております。これは救急車に記載しております除細動器、これを更新整備したものであります。1 2 番災害活動用資機材整備で 5 9 万 9 , 0 0 0 円を支出しております。これは耐熱防火服の購入でこの事業は石油貯蔵施設立地対策補助事業で行っておりまして、県支出金 5 2 万 2 , 0 0 0 円が交付されております。次に目 2 非常備消防費でございます。1 番災害用土のう袋代として 1 2 万 6 , 0 0 0 円を支出しております。これは災害時に使用するため各消防団機庫 5 3 箇所に配備したものでございます。3 番目に消防団機庫ホース乾燥棟塗装費として 4 6 万 2 , 0 0 0 円を支出しております。

これは消防団の各機庫に設置しておりますホース乾燥棟の維持のために塗装を実施したものであります。申し訳ございませんが次の項目番号重複しておりますので、3、4、5を4、5、6と繰り下げて頂きたいと思っております。4番目に消化活動用資機材として78万9,000円を支出しております。これは消防用のホース購入費であります。現在、配備しておりますホースの経年劣化による更新整備であります。下の表は消防団の出動状況でございます。出動の案件55件で、延べ3,726名の団員が出動いたしております。次に目3消防施設費でございます。消火栓新設改良、補修負担金として280万円を支出しております。これは火災消火活動に供えて消防水利の整備としまして消火栓の新設を6箇所、補修10箇所の経費でございます。次に目4水防費でございます。消防団部隊用の発電機・投光器の整備費として22万6,000円を支出しております。これは消防団で発電機・投光器等の未整備の部隊に配備したものでございます。簡単ではありますが、以上で消防費の説明を終わります。

委員長（徳並伍朗君） 説明が終わりました。それでは質疑を行います。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（徳並伍朗君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

次に教育費を議題といたします。執行部より説明を求めます。はい、月成学校教育課長。

教育委員会学校教育課長（月成庄造君） 72ページをお開き下さい。10款教育費・1項教育総務費・1目教育委員会費についてご説明を差し上げます。教科用図書採択事業費として11万2,000円を支出しております。これは今年度から小学校で使用している教科書の採択に係わる経費でございます。続いて3目指導費、主な事業として1番目の学力向上対策プロジェクト事業として228万3,000円を支出しております。これは小学校5年生、中学校1年生の全国学力調査C R Tの検査、あるいは学力推進に係わる対策事業としての会議費として使っております。主な支出は以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 石田教育委員会事務局次長。

教育委員会事務局次長（石田淳司君） 4目高等学校費、1私学振興に伴う運営補助としまして1,410万円を支出しております。これは美祢市内の私立高校への運営費の補助でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、月成学校教育課長。

教育委員会学校教育課長（月成庄造君） 5目外国青年英語指導事業費、JETの渡航費用負担金として11万1,000円を支出しております。これは中学校の指導に当たるALT、アシスタント・イングリッシュ・ティーチャー、外国の指導助手のための費用でございます。以上です。

委員長（徳並伍朗君） 石田教育委員会事務局次長。

教育委員会事務局次長（石田淳司君） 続きまして、2項小学校費・1目学校管理費、1番といたしまして、小学校夜間警備委託業務として528万2,000円を支出しております。続きまして、2番小学校校舎等営繕委託業務としまして299万2,000円を支出しております。続きまして、2目教育振興費でございます。1番の理科教育施設整備事業としまして505万3,000円を支出しております。続きまして、2番小学校教育用教材購入としまして591万8,000円を支出しております。

委員長（徳並伍朗君） 月成学校教育課長。

教育委員会学校教育課長（月成庄造君） 4目として特別支援学級支援事業ということで107万1,000円を支出しております。73ページをお開き下さい。上段でございます。4目の特別支援学級支援事業、特別支援学級にかかる介助員の配置をしております。小学校は城原小1校でございます。それから5目やまぐち学校教育支援員活用促進事業として、小学校1年生から4年生で21名以上の学級における補助員の配置をしております。それに215万6,000円を支出しております。それから6番目就学援助事業として、就学援助費として184名、それから特別支援教育就学援助費として22名、それぞれ1,154万6,000円と70万6,000円を支出しております。それから9番小学校の英語活動事業として、これもALTを2名、小学校のほうの指導に当たっています。これが195万円を支出しております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、石田教育委員会事務局次長。

教育委員会事務局次長（石田淳司君） 続きまして、3目学校施設整備費でございます。主なものほどご報告させていただきます。2番目の伊佐小学校ほか2校耐震補強策定及び実施設計用務といたしまして1,060万5,000円を支出しております。2校と申しますのは、川東小学校、それから城原小学校でございます。3番伊佐小学校ほか2校耐震補強他改修工事管理業務としまして393万8,000円、

それから7番目になりますが、伊佐小学校ほか2校耐震補強他改修工事としまして1億6,108万5,000円を支出しております。続きまして、3項中学校費・1目学校管理費でございます。1番目の中学校夜間警備委託業務としまして302万4,000円を支出しております。続きまして、2番中学校校舎等営繕委託業務としまして147万5,000円を支出しております。続きまして、2目教育振興費、一番上になりますが、1番理科教育施設整備事業としまして453万8,000円、それから2番目の中学校教育用教材購入としまして332万9,000円を支出しております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、月成学校教育課長。

教育委員会学校教育課長（月成庄造君） 4目特別支援学級支援事業として、特別支援学級における自立活動指導と介助員の配置ということで、秋芳北中に1名の配置をしています。97万1,000円です。次のページ74ページをお開き下さい。5目就学援助事業として、中学校と同じように就学援助費84名、特別支援学級の就学援助費として843万5,000円を支出しております。それから6番目の遠距離通学の援助費として121名分、中学校ですが1,544万9,000円を支出しております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、石田教育委員会事務局次長。

教育委員会事務局次長（石田淳司君） 3目学校施設整備費でございます。主なもののほど報告させていただきます。一番上1番目ですが、大嶺中学校校舎実施設計業務としまして1,869万円、4番目大嶺中・秋芳北中屋内運動場実施設計業務としまして728万9,000円、5番目美東中・秋芳南中耐震補強策定及び実施設計業務1,344万3,000円、6番目美東中・秋芳南中耐震補強他改修工事管理業務478万8,000円、9番目になりますが、秋芳南中耐震補強工事に伴う仮設校舎リース業務としまして1,089万9,000円、10番目大嶺中・秋芳北中屋内運動場改築ほか工事としまして4億2,585万4,000円、11番目美東中・秋芳南中耐震補強工事としまして2億4,933万円をそれぞれ執行しております。続きまして、4項幼稚園費でございます。1目幼稚園費、1番目でございますが、幼稚園就園奨励費補助金としまして2,099万9,000円を支出しております。これは幼稚園に通園する保護者の所得段階に応じた保育料の補助でございます。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、末藤社会教育課長。

教育委員会社会教育課長（末藤勝巳君） 同じく74ページでございます。5項社会教育費・1目社会教育総務費でございます。1番といたしまして、子どもいきいき体験事業補助金といたしまして53万1,000円を支出しております。これは美祢市と山梨市の交互に訪問し、交流を行っている事業でございます。全体では135万経費かかっておりますけれども、53万1,000円の補助金を支出したということでございます。続きまして、3番の社会教育団体の助成事業でございますが、活動している団体としまして、75ページの上段に記載しておりますけれども、美祢市連合婦人会ほか8団体に総額249万2,000円を支出しております。続いて、4番でございますが、放課後子ども教室事業といたしまして378万2,000円を支出しております。これは子どもの安全・安心な居場所を作るということで、国と県3分の2の補助を頂いて実施している事業でございます。市内には17教室ございますが、地域の方々の参画を得て様々な体験活動や学習活動を行っております。対象は全て児童・生徒でございます。続きまして、5番といたしましては、秋吉台国際芸術村指定管理委託料でございますが、現在財団が管理をしております。これに対する委託料といたしまして2,893万6,000円を支出しております。続きまして、6番河原コミュニティセンター建設経費でございます。旧施設でございました睦会館の老朽化に伴いまして、建て替えを行った施設でございます。建設に伴います設計委託工事解体等費用含めまして6,342万4,000円を支出しております。続きまして、目の公民館費でございます。市内には13の公民館がございますが、各公民館で開催されております学習活動の報償費及び需用費並びに施設の維持管理等に伴う業務といたしまして4,187万4,000円を支出しております。（1）でございますが、社会教育課で支出をしております額といたしまして1,813万8,000円を支出しておりますが、ここに記載しておりますのは、緊急を要した公民館の6館分といたしまして、7件、127万8,000円を支出しております。続いて76ページと77ページの上段におきましては、13の公民館にそれぞれ配算されてる予算からの支出でございます。また、（2）の大嶺公民館から（14）の岩永公民館まで記載しております各公民館で実施しております、生涯学習にかかります講座学級におけます講師謝金並びに管理運営経費等でございます。続きまして、目の図書館費でございます。1番といたしまして、美祢図書館運営事業といたしまして1,270万1,000円を支出しておりますが、修繕費並びに図書の購入費として支出をしております。2番、3番につきまし



ても同様でございます。4番におきましては図書館の利用状況を記載しております、10万3,140冊の貸し出しを行っております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、高橋文化財保護課長。

教育委員会文化財保護課長（高橋文雄君） それでは次のページ78ページをお開き下さい。社会教育費・5項社会教育費・5目文化財保護費であります。2番の長登銅山跡土地買上事業といたしまして1,039万円を支出しております。これによりまして、約2,800平米を公有地化しております。続きまして、6目文化施設費でございます。これは文化財保護課が所管しております各施設等の運営経費でございます。これは文化財保護課が所管しております各施設等の運営経費でございます。1歴史民俗資料館運営経費といたしまして458万7,000円、化石採集場運営事業といたしまして15万3,000円、化石館運営経費といたしまして524万6,000円、長登銅山文化交流館運営経費といたしまして818万9,000円、総額1,817万5,000円を支出しております。利用状況につきましては以下の表のとおりでございます。合計1万2,695人の方にご利用頂いております。続きまして、7目秋吉台科学博物館費でございます。これは秋吉台科学博物館の運営のための経費でございます。955万4,000円を支出しております。博物館には3万9,721人の方にご利用頂いております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 末藤社会教育課長。

教育委員会社会教育課長（末藤勝巳君） 続きまして、8目生涯学習まちづくり推進事業費でございます。1番といたしまして、生涯学習推進事業費ですが、美祢市におきましては、10月を文化に親しむ月間といたしまして、各種文化行事を市民の参加の下に開催をしております。文化祭等も開催をしております。また11月の第1日曜日に生涯学習推進大会を開催しておりますが、大会では優秀作品や花いっぱいコンクール花壇等の表彰を行っております。この経費を含めまして、156万5,000円を支出しております。次に79ページの上段になりますが、2番でございますけれども、市民大学講座運営事業でございますが、これは生涯学習の一環としまして、市民の方へ教養を深めてもらうということを目的にしております。昨年度は12月18日に福田靖さん、3月16日には福岡政行さんをお招きをいたしております。2回行っておりますけれども、569名の受講をいただいたところでございまして、これに要した経費が104万8,000円でございます。続いて、目9花づくり推進事業費でございますが、美祢市においては6月と11月に市民総社会

参加活動を実施しておりますが、昨年は6,437名の参加をいただいたところでございます。花づくりを積極的に進めております。これ以外にも厚狭川沿いの桜並木を管理をしております。この2件の経費をあてまして999万2,000円を支出しております。続きまして、美東センター費でございますが、1番といたしまして美東センターの施設維持管理等に伴います経費といたしまして615万5,000円を支出しております。2番目といたしましては、同センターの利用状況を記載しております。続きまして、来福センター費でございますが、1番といたしまして、来福センター運営事業といたしまして851万1,000円を支出しております。80ページの上段になりますが、2番といたしましては、利用状況を記載しておりますけれども、年間で1万5,876人の方が利用されたということでございます。以上です。

委員長（徳並伍朗君） 堀体育振興課長。

教育委員会体育振興課長（堀 洋数君） 続きまして、6項保健体育費・1目保健体育総務費、1番社会体育開催事業として435万6,000円を支出しております。その内主な事業として、美祢市駅伝競走大会開催事業に107万円、美祢秋吉台高原マラソン開催事業に220万円、美祢市民体育祭開催事業に72万円を支出しております。2番目に西日本軟式野球大会開催市負担金として50万円を支出しております。次に2目体育施設費、1番美祢市民球場改修工事に293万5,000円を支出しております。これは主に市民球場内外野フェンス衝撃緩衝材改修塗装と両サイドファールポールの改修塗装の工事であります。2番、3番、4番につきましては、美祢市内に19社会体育施設がございますが、その内主な施設としての運営経費を挙げております。2番市民球場運営経費として826万8,000円、3番温水プール運営経費として2,968万5,000円、4番体育館運営経費として1,236万9,000円を支出しております。5番目は市内社会体育の主な施設の利用状況をお示ししております。また6番目は美祢市小・中学校体育施設解放事業といたしまして、市内各地域の学校体育施設を一般のスポーツ活動の場として提供し、その利用状況の総数をお示ししております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 石田教育委員会事務局次長。

教育委員会事務局次長（石田淳司君） 続きまして、81ページの上段になります。3目給食施設費、給食運搬・収集業務委託としまして620万2,000円を支出しております。これは8箇所の共同調理場から各学校へ配送する業務委託料で

ございます。以上です。

委員長（徳並伍朗君） 説明が終わりました。質疑はございませんか。はい、岩本委員。

委員（岩本明央君） 73ページと74ページ、小学校費の就学援助費の関係、74ページは中学校費の関係の就学援助費の関係でございます。先般から新聞、テレビ等で報道しておりますが、大変家庭といえますか一般家庭の収入が大変減ってきて、生活保護を始め要保護、準用保護の関係もあってですね、こういうふうな援助を受ける児童、生徒が大変増えたというような報道をしておりました。全国的にも九州のある一部なり北海道の一部は、大変その児童、生徒の数が多いように聞いております。美祢市内のこの小学校、中学校の児童、生徒の生保、要保護、準用保護、この辺の子どもの家庭なり、子どもの数、比率の資料がありましたら教えて頂きたいと思います。

委員長（徳並伍朗君） はい、月成学校教育課長。

教育委員会事務局学校教育課長（月成庄造君） 把握はしておりませんが、今現在のところの就学援助を受けてる生徒数は、それに書いてあるとおりです。要保護、準用保護と分かれば割がすぐでると思います。今手元に要保護、準用保護も持ち合わせておりません。申し訳ありませんが。

委員長（徳並伍朗君） はい、岩本委員。

委員（岩本明央君） それではまた後日資料のほう提出をよろしく願いいたします。できれば生保のほうも含めてお願いいたします。

委員長（徳並伍朗君） その他ございませんか。はい、大中委員。

委員（大中 宏君） 73、74ページに遠距離通学の援助に対してですけど、その条件ですね。小・中学校それぞれありますけど、条件が分かれば教えて頂きたいと思います。それから長登銅山の資料館の利用状況なんですけど、これは学生の割合がどのくらい分かれば、この2点を教えて頂きたい。

委員長（徳並伍朗君） はい、月成学校教育課長。

教育委員会事務局学校教育課長（月成庄造君） それでは遠距離の通学費の補助につきましてですが、小学校のほうは4キロ以上の児童に補助をしております。それから通学困難区域というのは、4キロ以内であっても通学にとても支障をきたすところということで、該当の学校は大嶺小学校と城原小学校ですが、その学校の児童さん8名に補助しております。それから中学校のほうは6キロ以上ということで距

離が変わっています。ただ美東中の場合は多少条件が変わっておりまして、美東中は自転車通学もありませんし、定期を買っていますので、その定期代の補助をこちらのほうでしております。ちょっと条件が美東のほうとこちらのほうは違いますが、美祿のほうは6キロ以上ということで補助をしております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） 高橋文化財保護課長。

教育委員会事務局文化財保護課長（高橋文雄君） 長登銅山文化交流館における学生の利用状況ということのご質問でございましたけれども、小・中学生の方が744名ご利用されております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） その他。はい、河本委員。

委員（河本芳久君） 社会教育費の中の公民館費についてお尋ねします。社会教育の中核はやはり公民館であり、その公民館の活動なり事業が、地域の社会教育の振興と非常に係わっていると。地域づくりや生涯学習の拠点といわれる公民館が、どういうふうな活動するかによって、その地域の活性化なり人材育成に係わるんですから、ちょっと言わせてもらいます。というのは公民館費の予算としては、この全体総額1億2,681万4,000円ですが、それぞれの項目の中で特に公民館について、報償費を見ますと155万2,000円に対して、支出と不用額、使われなかったのが28万1,000円、需用額が2,000万円に対して77万4,000円余りですか、かなりの不用額があると。そして各公民館の活動をよく検討させて頂きましたら、76ページを中心に、75から76、一番の公民館活動の実績があがるのは、来福台のように団体がどのくらい利用された、学級講座やまたは教室が何教室くらいある、それにどう住民が係わっているか、当然そこには主催事業として学級講座を運営するその費用が、1館当たり20万か30万、例えば一番大きい大嶺公民館では22万9,000円、伊佐公民館の報償費が17万1,000円、ずーっとトータルをしても13館のトータルをしても、活動費がまたはどう住民がこれに係わり自主団体が係わったか、こういった状況がこの数字の中には分からないが、予算で見ると、その執行状況を見る限り、20年以前の公民館活動からすると、大幅な後退、社会教育の衰退がどんどん参っていると。この数字を見て、そのことが一目瞭然。なぜならば、昭和50年代から平成10年代頃までの1館当たり100万円ぐらいの報償費が皆つきよった。どういうことかということ、学級講座等は、これは社会教育の公民館活動の中に完全に、これは位置付けられておる。かつては青年学級は絶対に開設しなさいとか、婦人学級、家庭教育学級、そういう

必要な学級や講座が必ず国の事業として、県の事業として各公民館に配分されていた。だから各公民館は30万か20万の1学級や講座を必然的にとれば、それについて市町村の経費も加算されていた。これが行革の一環の中で、国が地方交付税の中に全部算入してしまった。だから国からの指示またはそういう支援がなかったら、当然国からその事業費として地方交付税に入っているけれども、市町村によつたらそういう入ってる予算を執行しないで他の経費に回してしまう。これは市町村の裁量権です。そうすると、教育の衰退はどこからおこったかということ、地方交付税の中に一括入ってくれば市町村の裁量、またはトップの市長の思いがかなり影響してくる。とりわけ教育に対する予算配分というのが少なくなるが、中でも公民館に対する経費が極端に少なくなってるのが今美祢市の現状。それがこの事業の一覧に皆出てきておる。これでいいだろうか。ましてや公民館主事という選任の主事を置きましょと。それは学習や講座や公民館全体の管理運営、または地域づくりの核にならんにはやならん。そういう人の活動の様子が、この資料では全然出てない。そういう意味で私はやはり地域づくり、まちづくり、生涯学習の促進のための場の提供、情報の提供、相談、そういう諸活動を、学校教育以外の教育活動を、公民館を拠点にしてやる。その施設の活動がますます衰退するというのは、地域の活性化が衰退する、それと全くイコールになる。こういう状況で、この社会教育の活動の分析をしようとしても、単なる予算の執行状況、そして不用額でよう使わんだったと。これじゃどれだけ公民館が活動してるか分かりません。だから公民館には、どのくらいどの館には団体があり、また講座、学級があり、自主運営はこういうふうにしてますというのは出てこない、学校教育以外の場の教育の実態が、この決算書では掴むことができません。そういった問題は一つ資料として、公民館にどのくらいの地域住民が係わっているか、講座、学級等が開設されているか、そういったものを提示することはできないかお尋ねします。

委員長（徳並伍朗君） 末藤社会教育課長。

教育委員会事務局社会教育課長（末藤勝巳君） この表では全く公民館での活動状況等が、全く示されておられません。大変申し訳なく思っております。13の公民館におきましては、各種生涯学習に係わります講座、学級、婦人学級、高齢学級、様々行っております。今ご指摘をいただきました衰退をしているということは、やはりゆがめない思いでございます。しかしながら生涯学習といえますのは、いわば自主的、自発的に行動して、心豊かに日々の生活を豊かにするものというふうに私

は思っております。公民館に地域の方がどれだけ係わっておられるかということに對しましては、表にはしておりませんが、早急にといいですか、今年4月に5月ですか、作成をしております教育要覧というものがございませぬけども、この中に13の各公民館におきましての活動内容、どういったことをしてるかというものがございませぬので、これを参考として資料として提出をしたいと思っております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、河本委員。

委員（河本芳久君） 社会教育の中、特に公民館がどんな活動してるか一番よく分かるのは、80ページの来福台センターの利用状況、これを見られたらこういうのが数字的に出てきて、そしてどのように地域住民と係わっているか、こうなれば社会教育の推進実態が分かる訳です。だからやはり市民に一生懸命社会教育の主事さんたちやっておられます。公民館館長も。でもやはりこういった数字できちっと提示されないと、どういう状況かは分からない。そういうことで私ちょっときつい意見を申し上げましたが、やはり社会教育がその町に振興しておれば、住民の自主活動やまちづくりも非常にうまくいってる。これまで静岡県の掛川が全国のいわゆる生涯学習のまちづくり推進を宣言して、市長自らが市長部局に生涯学習担当部長を置いておる。予算も膨大に付けておる。人材とそういう住民の活動を支援するということで、まちづくり、生涯学習というような、そういう一つのスローガンのもとに取り組んでおられるところもあるんです。今は地方交付税の中に先程申しましたように一括入ってくるから、これだけのお金は社会教育、公民館に使いなさいというような指示がない。ないがために市町村が独自の一つの展開はできるが、美祢市の実態はやってますというそういう実態がこの資料では報告では掴めないから、私は今再度そういう資料が提出できるかどうかお願い。もう一つこのような活動チェックするのが、社会教育委員会というそういう特別なこの社会教育に対する指針、方針そういうものを審議する場が、委員が委嘱されております。また各公民館には公民館運営審議会というのがあるんで、それぞれの団体や地域のいろいろな方々が、公民館運営に係わっておられる。そういう人達の意見はどうなってるか。例えば社会教育委員会において、これからの青少年のいわゆる教育、特に家庭教育における啓発、相談、そういったものはどうあるべきかという一つの意見具申を求められれば、社会教育委員会はそのに対して美祢市の実態を調査し、そして報告書を作って答申をするという活発な市町村によったら、そういう答申が何件か出て来

るわけです。美祢市はこの3年間そういう意見具申や答申がありましたか、確認します。

委員長（徳並伍朗君） 末藤社会教育課長。

教育委員会事務局社会教育課長（末藤勝巳君） 只今のご質問でございますけども、答申はございません。社会教育委員会議年2回開催をしております。社会教育委員さんにおきましても、社会教育の中ではこういった職務はありますというのを明記されております。実際会議等には出席をしまして、この1年間の社会教育の活動、そういったものを報告し、実際に実行をしておるわけでございますが、社会教育委員さんのほうからいろいろとご指摘を頂くことも多くございます。それを改善して行かなくてはいけないというふうには思っております。また、今年生涯学習のまちづくり推進大会、これが11月の6日でございます。私どもは社会教育生涯学習をやっておられる方の発表の場、そういった人的支援を行うことが必要でございます。その中で今までとやはりありきたりの流れ、そういった形で、特に趣向を変えなさいと。より市民の方が多く参加できるようなものに変えなさい。そういったご指摘も出ております。今回11月6日に行われます生涯学習のまちづくり推進大会におきましては、若干趣向も変えてございます。また生涯学習を行っております市民の方々の各団体のご了解も得まして、時間等のタイムスケジュールも変えてございます。行ってみないと分かりませんが、また実施したあとにこれを参考としまして、また社会教育委員会議等にこちらのほうからご相談ではございませんが、ご指摘等あれば頂くようお願いをしたいというふうに思っております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、河本委員。

委員（河本芳久君） 実際は各地域の住民が公民館を非常に必要とし頼りにしておると思います。いろいろの団体や高齢者等の生きがい対策として、公民館を大いに活用されておると思います。やはりそういう人達を学びの場、集いの場、結びの場、そういう面で公民館主事という、ただ職員じゃないんです。そういう人達が思いきって活動されるように、行政、特に教育委員会はサポートする必要があるんじゃないかと。現実には、非常に私は決して他の市町村に比べて劣ってるとは思いません。ようやっておられます。しかし行政としてのサポート、予算を獲得するとか、そして、そういう一つの生涯学習の発表の大会の場を通して、そういう公民館の活動を紹介するそういうものがもっとあれば、私のような発言は無くなるんじゃない

やなかろうかと。そういったのが余り見えてこんから、私の気持ちを申し上げたし  
だいでございます。以上。

委員長（徳並伍朗君） はい、三好委員。

委員（三好睦子君） 河本委員と関連しますけど、公民館の使用料は、そういった  
社会教育の一環として、使用料の場合は半額免除で猶予されてますけど、電気代は  
そうした面がないと。電気代は当たり前使用料の電気代として入ってますけど、  
こういった電気代が、実際に払ってる電気代よりたくさん払ってるんじゃないかと  
いう疑問の声がありましたが、その点電気代がいくら入っていくら出たというのが  
チェックされてるんでしょうか。ちょっと見ましたけど分かりません。それともう  
一点、秋吉台国際芸術村の指定管理料ですけど、これは県の施設なので、県の補助  
金がいくらか出てるのでしょうか。半額とか出てるのでしょうか。お尋ねします。

委員長（徳並伍朗君） はい、末藤社会教育課長。

教育委員会事務局社会教育課長（末藤勝巳君） まず最初の公民館の電気料につき  
ましては、各公民館の条例の中に記載がしてございますけども、その記載どおりの  
金額で間違いございませんので、確認を再度お願いしたいと思います。決して高い  
というものではないと思っております。それともう一点の国際芸術村の委託料でご  
ざいますが、先程、二千九百数万払っております。平成10年からやっております  
て、平成18年から指定管理になっておりまして、今年ですね平成23年から指定  
管理となっております。本来大体の8対2といったふうなことございますけども、  
県のほうも今回1億5,100万程負担をしております。負担割合は、実際には1  
5%と大体85%の割合で、県のほうが多く負担をしておるといってございま  
す。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、三好委員。

委員（三好睦子君） すいません。公民館の電気代ですけど、高い低いじゃなく  
て、払った電気代と使った電気代のあつてると言ったらおかしいけど、実際に足ら  
ないのか、使用料で、そこが知りたいと言われたんですけど、実際に電気代払った  
分ほど電気代が、例えば電気代が50としました時に、払ったほうが60じゃった  
場合と、そんなのがあるかなと、実際高く払ってるんじゃないかねというのを聞き  
ましたけど、どうなんでしょうか。

委員長（徳並伍朗君） 質問分かったの。はい、末藤社会教育課長。

教育委員会事務局社会教育課長（末藤勝巳君） 高い低いじゃないということで、



大変ご無礼をいたしました。電気代の使用料につきましては、既に条例の中に明記はされていると思いますので、その金額で徴収をしてるということでございます。

委員長（徳並伍朗君） その他。はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） 社会教育費の6の文化施設費でありますけれども、この中で歴史民俗資料館運営経費が458万7,000円となっております。その他化石採集場とか運営費、化石館運営経費とか長登銅山文化交流館運営経費、それに対しての利用人数があります。歴史民俗資料館運営費が458万に対して、歴史民俗資料館での利用者が1,251、そういった運営経費とこの資料館に入られた利用人数、この人数が1,251人とあります。この辺を比較してみて、どのように評価されてるか。長登文化交流では運営費が818万9,000円であるのに対して、来られた方が4,650人ですね。秋吉台科学博物館運営経費が955万4,000円に対して利用人数が3万9,721人となっております。これに対して、どのように総括されてるか、平成22年度の結果が出ておりますけれども、どのように評価されてるか、この点まずお伺いします。

委員長（徳並伍朗君） はい、高橋文化財保護課長。

教育委員会事務局文化財保護課長（高橋文雄君） 只今の資料館等の入館状況ということで、非常に資料館で458万7,000円も支出して、人数が少ないんじゃないかというようなニュアンスだったと思いますけれども、この1,251名といたしますのが、実を言いますと、これは資料館のみを見学された方の人数でございます。その下にあります化石採集場でございますが、これで2,787名の方が利用されております。この化石採集場を利用される方は全て資料館に入館されて、そしてそのあと採集場のほうに行っていくというような形を取っております。もっと解りやすく言えば、この上と下を足したのが、資料館の利用人数という考えを持っております。ですから化石館のほうにおきましても4,000名、長登銅山文化交流館におきましても4,650名という人数で、ほぼ1館としましては同じぐらいの入館者であると思っております。それから秋吉台につきましては、特殊な条件の観光地という特殊な条件のところに立地しております。観光客が非常に多く入れるということで、この3万9,721という方が来館されておられますし、また入館料も無料であるというのも若干の要因かも知れません。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） 美祢市はですね、ご存知のように夢・希望・誇りを持つ文化

交流拠点都市、そういうことでこういったところに文化施設にしっかりと美祢市また美祢市以外の方が多くの方が来られるということが、非常に大切な一つの施策の一つであります。それでですね今さっき言いましたけれども、歴史民俗資料館この運営経費に対しての入館者等、また秋吉台のこの科学博物館に対して利用人数が3万9,000いかにも多いと思われまますけれども、実際秋芳洞ですね入られる方というのは60万年間おられるわけですね。それに対して私は博物館のほうには3万9,000というのは、非常に私逆に言えば少ないと思っております。そりゃ施設が50年経って古いということもありますけれども、もっとこういった文化交流拠点都市ならば、新しい進化したような文化交流拠点としての催し物をしっかりとやっていくことも、私は必要ではないかこのように思っております。今後観光事業特会のほうでは、資金不足比率とか非常に厳しい状況でありますけれども、今後そういったところが少しずつ解消していけば、私はこういったところにもっと力を入れて行くべきではないかと、そのように思っております。今後そういったこういった施設に対して、もっと文化、美祢市は交流拠点都市としての、どのように今後方向性を持っていかれるかどうか、今回のこれを踏まえながらその辺について、簡単に結構ですので説明していただきたいと思っております。

委員長（徳並伍朗君） 岡山委員、簡単にあなたに説明しますが、「しゅうほうどう」ではなく「あきよしどう」でございますから、以後間違いないように言って頂きたいと思っております。はい、高橋文化財保護課長。

教育委員会事務局文化財保護課長（高橋文雄君） 只今のご質問にお答えいたします。私どもとしても、この入館者数というのは少し少ないという感じは持っております。それで各館努力してはおるんですけども、特に昨年の水害の関係も大きいと思っておりますが、全館昨年入館者がダウンしております。現在少しずつ回復の方向に向かってはおりますが、これをもっと多くの方に利用して頂くということにつきましては、今後も展示内容を変えたり、あるいはPR等に努力したりして、増加の方向に持っていきたいと思っております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） 長登銅山文化交流館、これ一昨年ですか開館したということで、実際これ人数非常に多いわけですね。常に私はこういった文化交流館というのをしっかりとリニューアルと言いますか、いろんな展示を今後ともしっかりと進化していくものをやっけて行かないと、利用者は増えていかないなど。旧態依然のまま

だったら駄目だなということ、改めて私は今回のこういった報告からで、決算の報告書から判断するわけでありますので、その辺もしっかりと考慮されて対応して頂きたいということをお願い申し上げまして質問を終わります。

委員長（徳並伍朗君） その他。はい、安富委員。

委員（安富法明君） 時間が5時を大きく過ぎてますので、簡単にというわけには行きませんが、お願いのような形になろうかと思えます。総務がおられますので教育費についてお伺いするわけではございません。ひととおり大体あと災害を残して終わってきてます。先程、監査意見書について、1番に書いてある結びの1番税の収納についてお聞きをしました。2番ちょっと置いて、3番にですね大切なような感じがすることが書いてあります。ちょっと読んでみます。監査審査書の41ページの3公益的団体への支援のあり方について、美祢市は、美祢市 協会、美祢市 大会実行委員会といった多くの公益的団体に対し、補助金を交付する等の財政支援を行っている。しかし、財政支援にとどまらず、各団体が主催する事業の企画・運営や経費の支払い、予算決算書作成、預金通帳の管理といった業務を市職員が行うという業務支援（人的支援）も同時に行われていることも多い。本来、住民による地域づくり活動は、自らの発案を自らの手で実現するべきものであるため、市職員が業務支援（代行）まで行うことは、本旨からの逸脱と言わざるを得ない。公益的団体は、地域づくりのため、（限られた補助金で）事業の企画・運営、事務処理も自立的に行っていけることが市からの支援存続の要件であり、これを満たさない団体については、市は支援すべきではないことを行政改革の一環として全庁に周知させる必要がある。もうちょっとあるわけですが、これについてですね、審査意見書の結びなんです、執行部としてどのように捉えておられるのか、聞き置くということはまさかないと思うんですが、こういう団体がどれだけあるのか、どういう団体を想定して述べられておられるのかもちょっと分かりません。恐らく執行部におかれては、もう既に調査をされてるんじゃないかというふうにも思いますし、総括の審議があろうかというふうに思いますので、それまでにどのようなものを指摘をされ、どれぐらいな組織が該当してるのか、加えて執行部がどういうふうな、この意見に対してどういうふうな対応をしようとしてるのか、合わせてお伺いができるようにしておいて頂けたらというふうに思っております。以上です。（発言する者あり）今はどうせ資料がないでしょうから。総括質疑があるでしょうから、それまでにそれなりのものを作っていただいて、また市としての市長なり総務部長でも

いいと思うんですが、これに対する市の対応といいますか、姿勢を示して頂きたい。よろしいでしょうか。

委員長（徳並伍朗君） それじゃ執行部のほうよろしく願いをいたします。その他。はい、田邊委員。

委員（田邊諄祐君） 74ページの3番目を見ていただきたいんですけど、これは7億4,965万2,000円、私大変教育費がふんだんに使ってると思うんですよ、といいますのは教育長にお聞きしたいんですけど、今ですね日本は非常に借金が多いわけですね。ギリシャは国民総生産の1.6倍に対して、日本は約2倍の借金をしてるわけですね。それで私は4、5年先には必ず日本は何らかの大変なことになると思って、余り頼りにならないと思うんですよ。しかしながら、地方も国のいうことを聞いてだろうと思うんですけど、多分この中の大嶺中学校・秋芳北中学校の運動場改築工事、それから美東中・秋芳南中耐震補強工事、この二つは私は安心・安全は大事なことなんですけど、これは中学を統合すればですね、今、中学合わせて何人おるか分かりませんが、統合すればたった一つでですね4億円なり減らすことができると思うんですよ、教育長はそういう考え方をされてるかどうか、それをお聞きしたいんですけど。以上そういうことなんですけど。そういう考え方の中で皆さんを指導されてるかどうか。

委員長（徳並伍朗君） はい、永富教育長。

教育長（永富康文君） 田邊委員のご質問でございますが、この学校施設整備費につきまして、大変高いのではないかとというふうなご質問でございますが、学校の子どもたちの安心・安全のためには、十分な施設整備は欠くことができないものであるというふうに考えております。何よりも将来の美祢市を支える子どもたちでございますので、優先的にこのような学校施設の整備、特に耐震化を進めるべき課題であるというふうに認識しております。そういう意味で私はこういうふうな取り組みを行った訳でありまして、市民の方々もご理解を頂けるものというふうに思っております。なお秋芳北中学校と秋芳南中学校の校舎の耐震化のことにつきましては、それぞれの学校がそれぞれの地域の拠点的な施設でもありますし、そういうふうな学校につきましても、きちんと耐震化を進めることが大事であるというふうに思っ  
て進めて来たところでございます。今お話がりましたが、学校の統合という話も  
ございますが、それは今そういう方向を考えているわけではございません。今ある  
中でその学校の耐震化をすると。文科省のそういうふうな指示も、今ある学校前提

としてそこについて耐震を進めるというふうな形で求められたものであります。そういう意味では、そういうふうな時代の要請に応じて整備をしたというところでございますので、どうぞご理解を頂きたいと思っております。

委員長（徳並伍朗君） はい、田邊委員。

委員（田邊諄祐君） 教育長さんは、理屈も人間も大変すばらしいですけど、考え方については、私は教育というものは物損や金やじゃなくて、やはり親や周囲のお世話になった人、それからマスコミの影響が非常に大きいと思うんですよ。ですからいくら設備投資してですね、安心・安全、それから建物の立派なのを作っても、教育の価値は僕はないとは言いませんけど、設備やそういうものじゃないと思うんですけど。如何でございますでしょうか。

委員長（徳並伍朗君） 永富教育長。

教育長（永富康文君） おっしゃるように教育の中味も大事と思っておりますが、そういうふうな教育を進めるためには、子どもたちの安心・安全のための施設設備もきちっと用意することが、同じように極めて大きな大事と思っております。

委員長（徳並伍朗君） その他ございませんか。はい、田邊委員。

委員（田邊諄祐君） よく分かりましたけど、非常に残念ですね。以上です。

委員長（徳並伍朗君） それでは異議なしと認め質疑を終わります。5時半が過ぎましたが、皆さん元気でいろいろと質問して頂きますので、もう一回あります災害復旧費を議題として、きょう終わらせたいと思っております。10分間休みののち最後の災害復旧費の審査を行いたいと思います。よろしく願いいたします。

午後5時37分休憩

午後5時47分再開

委員長（徳並伍朗君） 休憩前に続き委員会を開きます。

次に災害復旧費を議題といたします。執行部より説明を求めます。西田農林課長。

建設経済部農林課長（西田良平君） それでは11款災害復旧費・農林災害につきまして説明をいたします。報告書の81ページをお願いいたします。初めに平成22年度に支出した災害復旧費につきましては、平成22年度発生災害及び過年災の平成21年度発生災害の復旧費となります。ここで各年度の雨量状況について初めに申し上げます。平成21年度につきましては、7月21日の豪雨により岩永地区にお

きまして、24時間雨量210mm、時間雨量62mmでございました。平成22年度につきましては、7月15日の豪雨により東厚保地区におきまして、24時間雨量208mm、時間雨量58mmということで、災害認定されます24時間雨量80mm、時間雨量を20mmを大幅に超える状況となりました。それでは11款災害復旧費・1項農林施設災害復旧費・単独災害復旧費の1現年発生災害復旧費につきまして1億7,337万6,000円を支出しております。これにつきましては、民家の裏山の崩土を取り除き92件、林道災害8件の工事を発注いたしました。また農地及び施設災害が225件、これにつきましては、地元受益者による工事施工に対しての補助金交付となります。また緊急な対策として、崩土の取り除きや土のう設置などの応急復旧工事99件を発注しております。2の現年発生災害復旧費ですが、農地及び施設災害が30件、849万円の補助金を交付しております。これにつきましては、平成21年度発生災害で平成22年度へ繰り越したものでございます。3の過年発生災害復旧費ですが、3,416万6,000円を支出しております。林道災害工事1件の発注と農地施設災害131件について補助金を交付しております。これにつきましては、平成21年度に発生した災害について、繰越ではなく平成22年度に予算を計上し発注したものでございます。続きまして、補助災害復旧費ですが、これにつきましては全て工事発注となります。まず1の現年発生災害復旧費につきましては、林道1件、農地・施設災害250件で、4億6,328万9,000円を支出しております。2の現年発生災害復旧費ですが、農地及び施設災害が116件、1億7,006万円を支出しております。これは平成21年度発生災害で平成22年度へ繰り越したものでございます。3の過年発生災害復旧費ですが、農地及び施設災害が1件、431万2,000円を支出しております。これにつきましては、平成21年度発生した災害で、繰越ではなく平成22年度予算計上により発注したものでございます。続きまして、不用額が生じた主なものにつきましてご説明のほういたします。決算書の129ページをお開き下さい。1目単独災害復旧費の工事請負費につきまして642万3,000円の不用額となっております。これにつきましては、概算見積と実施設計との差でございます。続きまして、負担金、補助及び交付金につきまして2,454万3,000円の不用額となっております。これにつきましては、当初全体で2億の少額災害補助金の申請を想定しておりましたが、このうち22年度3月までに1億の申請がなされるものと見込んでおりましたが、最終的には8,560万円の支出となり不用額が生じまし

た。2目の補助災害復旧費の工事請負費につきまして、5,263万6,000円の不用額となっております。これにつきましては、入札減及び概算設計と詳細設計の差によるものでございます。農林災害復旧費につきましては以上でございます。委員長（徳並伍朗君） 前野建設課長。

建設経済部建設課長（前野兼治君） それでは続きまして、土木施設災害復旧費について説明をいたします。まず補助対象とならない単独災害復旧費といたしまして134件で、うち22件は翌年度への繰越でございます。1億4,837万円を支出しております。補助災害復旧費といたしまして156件、うち51件は翌年度繰越でございます。7億7,402万1,000円を支出しております。また補助の過年災害復旧費といたしまして、11件で1,893万円を支出いたしております。なお不用額につきまして、補助災害復旧費において2,308万1,000円ございますが、これは工事請負費によります入札減によるものでございます。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、石田教育委員会事務局次長。

教育委員会事務局次長（石田淳司君） 続きまして、82ページをお願いいたします。3項教育施設災害復旧費・1目単独災害復旧費、1番上になりますが、1番単独災害復旧費6件でございます。189万円を支出しております。これは昨年7月の豪雨災害に伴います厚保小学校、川東小学校、麦川小学校及び厚保中学校3件、合計6件の復旧工事に伴います経費でございます。

委員長（徳並伍朗君） 堀体育振興課長。

教育委員会体育振興課長（堀 洋数君） 同じく2番目になりますが、秋芳北部総合運動公園災害復旧工事として58万3,000円ほど支出しております。これは同じく昨年大雨によりまして、公園の法面が一部崩壊というか、ずれまして、それに伴いましてフェンス等も破損しております。その復旧工事でございます。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 石田教育委員会事務局次長。

教育委員会事務局次長（石田淳司君） 続きまして、2目補助災害復旧費でございます。1番補助災害復旧費2件としまして203万7,000円を支出しております。これは秋芳南中学校の校舎内に伴います災害復旧に係わる経費でございます。以上で終わります。

委員長（徳並伍朗君） 佐々木生活環境課長。

市民福祉部生活環境課長（佐々木郁夫君） それでは82ページでございますけれども、4項その他公共施設災害復旧費でございます。目単独災害復旧費、1としまして、美祿市リサイクルセンターフェンス災害復旧工事として669万9,000円を支出しております。これは平成22年度の豪雨災害によりまして、リサイクルセンターの水路沿いにありますフェンスが、土砂の流出のため延長五十数メートルにわたりまして、倒壊をいたしました。その復旧工事を行っております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 説明が終わりました。それでは質疑を行います。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（徳並伍朗君） 質疑なしと認め質疑を終わります。以上で議案第16号平成22年度美祿市一般会計決算の認定についての説明、質疑までを終了いたしました。なお、討論・採決につきましては、総括審議終了後に行いますのでよろしくお願いをいたします。それでは、その他委員の皆様から何かございましたらご発言をお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（徳並伍朗君） ないようでございます。これにて本日の審査を終了いたします。なお、明日午前中特別会計決算につきまして審査をいたします。それでは明日10月13日、午前9時30分より当委員会を開催いたしますのでよろしくお願いをいたします。本日はこれにて散会いたします。ご審査・ご協力誠にありがとうございました。お疲れ様でございました。

午後5時58分散会

---



上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成23年10月12日

決算審査特別委員会

委員長 徳 善 臣 朗